

安中市公共交通に関する 市民アンケート

集計結果報告

平成30年 3月
安中市役所 企画課

目次

◆ 調査概要

◆ 調査用紙

◆ 集計結果

(A) 回答者の属性

(B) 日常的な外出行動

(C) 路線バスの改善要望・利用意向

(D) 公共交通の維持・確保

(E) 交通弱者の公共交通利用

(F) 維持・確保のためのアイデアや意見・要望

調査概要

(1) 調査の目的

現在、安中市の乗合バス及び乗合タクシーは7路線が運行しており、また、平成23年度からはデマンド（予約制）タクシーが導入されていますが、近年の厳しい社会経済情勢の変化の中、支出額は年々増大し、運行会社への補助金は平成28年度で約7千6百万円が支出される状況となっております。さらに、旧松井田町地域においては、現在の運行路線が1路線のみであり、その対策も課題の一つとなっております。

本調査は、本市公共交通の総合的な見直しに向けて、高崎経済大学と連携し、現状や要望等を把握することを目的に実施したものです。

(2) 調査の方法

調査の方法は以下のとおりです。

- ①調査地区：安中市全域
- ②調査対象者：無作為抽出した満16～80歳の安中市民 1,500人
- ③調査期間：平成29年10月17日～10月31日
- ④調査方法：郵送方式による配布・回収

なお、安中地域と松井田地域の人口比率は約3：1ですが、対象者を抽出するにあたっては、現在公共交通が運行していない地域が多く存在する松井田地域の市民ニーズを把握するため、安中地域、松井田地域をそれぞれ同数（750人ずつ）としました。

(3) 回収結果

- ①安中地域 265枚（回収率35.3%）
- ②松井田地域 334枚（回収率44.5%）
- ③市全体（①+②） 599枚（回収率39.9%）

（地区別回収票数）

地区名		回収数	地区名		回収数
安中地域	安中	76	松井田地域	松井田	103
	原市	63		臼井	21
	磯部	29		坂本	19
	東横野	21		西横野	99
	岩野谷	17		九十九	35
	板鼻	24		細野	55
	秋間	21		無回答	2
	後閑	11		小計	334
	無回答	3			
	小計	265		市全体	599

調査概要

(4) 集計結果の見方

- 集計については、主に調査回答者の居住地別（安中地域・松井田地域）に行っています。これは、市全体で集計すると、人口特性や公共交通の運行状況等を考慮した傾向が明確にならないこと、また、アンケート内容も地域の実情に合わせて若干変更を加えているためです。
- 集計結果の構成比率（％）は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 各設問のタイトル中で「2つまで」「3つまで」「該当するものすべて」などと示したものは「指定された数まで回答を選択」する設問を示しています。特に表記がなければ、「1つだけ選択」と指定された設問です。
- 回答者を限定した設問（例：「前の質問で①と答えた方にお聞きします」）の場合、回答対象者を「n＝○（数字）」と表記します。

(5) 調査の体制

安中市役所総務部企画課が事務局となり、
公立大学法人 高崎経済大学との連携のもと、
実施しました。



安中市公共交通に関する市民アンケート

ご意見をお聞かせください・ご協力をお願いします

市民の皆様には、日頃より市政にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、本市の乗合バス・乗合タクシーは7路線が運行しておりますが、平成23年度からはデマンド（予約制）タクシーが導入されておりますが、近年の厳しい社会経済情勢の変化の中、支出額は年々増大し、運行会社への補助金は平成28年度で約7千6百万円が支出される状況となっております。また、旧松井田町地域においては、現在の運行路線が1路線のみであり、その対策も課題の一つとなっております。

このような状況の中、本市公共交通を見直すために、現在の状況や要望等の調査を行うことになりました。このアンケートは、16歳～80歳の市民の皆様の中から無作為で抽出した1500人を対象に調査票をお送りし、ご回答をお願いするものです。

お忙しい中、誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解の上、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケートの結果につきましては、市ホームページ等でお知らせします。

平成29年10月17日 安中市長 茂木 英子

【アンケート記入にあたって】

- 1 ご回答は、あて名にあるご本人がご記入くださいますようお願いいたします。ただし、あて名の方が答えられない事情のある場合は、ご家族の方がお答えください。
- 2 アンケート用紙や返信用封筒に、お名前を書いていただく必要はありません。
- 3 個人情報の管理は、安中市個人情報保護条例の規定に基づき、適正に行います。また、回答内容については、この調査以外の目的に使用することはありません。
- 4 回答は、番号に○を付けていただくものと、ご記入いただくものがあります。
- 5 ご記入が終わりましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、

平成29年10月31日（火）までにご投函ください。（切手は不要です）



【問い合わせ先】

安中市役所 総務部 企画課 企画調整係
安中市安中1-23-13
電話 027-382-1111（内線1022・1635）

※参考資料として、市内バス路線図と時刻表を同封しております。路線図は、安中市ホームページにてカラー版がご覧になれますので、必要な場合はぜひご確認ください。

安中市ホームページ(公共交通のページ) <http://www.city.annaka.lg.jp/jikokuhyo/index.html>

安中市公共交通に関する市民アンケート調査票

1. 最初にあなたご自身についてお聞きします。

(1) 性別 (1つに○)	①男性 ②女性
(2) 年齢 (1つに○)	①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳以上
(3) 職種 (1つに○)	①会社員・公務員 ②自営業 ③学生 ④専業主婦(夫) ⑤パート・アルバイト ⑥無職 ⑦その他()
(4) お住まいの地域 (1つに○)	①安中 ②原市 ③磯部 ④東横野 ⑤岩野谷 ⑥板鼻 ⑦秋間 ⑧後閑
(5) 運転免許の有無 (該当するもの全てに○)	①免許なし ②自動車運転免許あり ③自動二輪車・原動機付自転車(原付)運転免許あり
(6) 自由に使用できる自動車などの保有状況 (該当するもの全てに○)	①自動車を持っていない ②自動車を持っている ③家族が自動車を持っている ④自動二輪車・原動機付自転車(原付)を持っている
(7) 市内の路線バスの運行状況 (1つに○)	①よくわかっている ②まあまあわかっている ③このアンケートで初めて知った

*市内バス路線と時刻表は、同封資料をご参照ください。

2. あなたの日常的な外出についてお聞きします。

問2(1) あなたの外出頻度はどのくらいか教えてください。(1つに○)

- ①週5日以上 ②週2~4日程度 ③月1~4日程度 ④年に数日

問2(2) 下の表について、目的ごとに「主な行き先」の中からそれぞれ該当するものを1つ選びのをつけてください。()内には具体的な名称、市名等をご記入ください。

	(A) 通勤・通学	(B) 買い物	(C) 通院	(D) 公共施設利用
主な行き先	①市内 ②高崎市 ③富岡市 ④県内の市町村 ⑤県外の市町村 ⑥その他()	①大型店舗 () ②商店街 () ③自宅周辺 () ④その他(市外含む) ()	①市内の総合病院 () ②市内の医院等 () ③市外の総合病院・医院 () ④その他 ()	①安中市役所 ②松井田支所 ③安中市文化センター ④松井田文化会館 ⑤老人福祉センター ⑥その他 () ⑦その他(具体的に:)

問2(3) 安中市内への外出時によく利用している主な交通手段を教えてください。(○は2つまで)

- ①路線バス ②鉄道 ③自家用車(自分の運転) ④自家用車(家族などの送迎)
⑤タクシー ⑥バイク(原動機付自転車を含む) ⑦自転車 ⑧その他()

問2(4) 外出時の主な交通手段として、「①路線バス」を回答した方にお聞きします。ふだん、乗り降りするバス停について、具体的にバス停の名称をご記入ください。名称が分からない場合は、地区名等をご記入ください。

自宅近のバス停または地区名: () 目的地のバス停または地区名: ()

問2(5) 外出時の主な交通手段として、「①路線バス」を回答しなかった方にお聞きします。ふだん路線バスを利用しない理由は何ですか？(○は2つまで)

- ①路線バスでの行き方や運行時刻、所要時間などがわからないから
②利用したいと思うが、目的地へ行く路線がない、または最寄りのバス停が自宅から遠いから
③利用したいと思うが、運行本数が少なく、行きたい時刻と合わないことが多いから
④自家用車利用に比べて費用や時間がかり過ぎるから
⑤自家用車・バイク・自転車等で移動した方が便利だから
⑥路線バスで移動することをほとんど考えることがないから
⑦その他(具体的に:)

問2(6) 外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか？(1つに○)

- ①よくある ②たまにある ③ほとんどない ④全くない

問2(7) 前の質問で①または②を回答した方にお聞きします。どのような目的で外出する時に困りますか？(2つまで○)

- ①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設・金融機関の利用
⑥趣味・遊び等 ⑦その他(具体的に:)

3. 路線バスの改善要望や、今後の利用意向についてお聞きします。

問3(1) 路線バスについて、改善してほしいことはありますか？(○は2つまで)

- ①運行本数の増便や運行時間帯の拡大をしてほしい
②バス同士の乗り継ぎや鉄道との接続を良くしてほしい
③バス停にベンチや屋根など快適な待合空間を整備してほしい
④バス利用のための時刻表や路線図などの情報提供を充実してほしい
⑤バスの床を低くしたり、ドアを広くしたりして、乗り降りしやすいバスを走らせてほしい
⑥バスの案内や回数券・定期券などを販売する窓口を、駅や市役所などに設置してほしい
⑦その他(具体的に:)

問3(2) 路線バスが手軽に利用できたら行きたい場所を、下表から選んでください。(○は3つまで)

- ①安中市役所周辺 ②安中市文化センター ③安中市「センター」 ④老人福祉センター
⑤学習の森 ⑥碓氷峠くろぎの郷 ⑦郊外の大規模店舗 ⑧金融機関
⑨その他、市内の店舗・学校・病院等(具体的に:)
⑩安中駅及び周辺 ⑪磯部駅及び温泉街周辺 ⑫松井田駅及び周辺
⑬西松井田駅及び松井田支所周辺 ⑭横川駅及び周辺 ⑮安中橋名駅及び周辺

問3(3) もしも、安中市街の中心道路に沿った経路(碓氷病院~安中駅~板鼻周辺)に毎時2~3本のバスが走るようになったら、そのバスを利用できるとお考えですか？(1つに○)

- ①利用できると思う ②家族が利用できると思う ③利用しないと思う ④わからない

4. 路線バスの維持・確保についてお聞きします。

現在、安中市内で運行されている路線バスは、ほぼ全てが県・市の補助金を投入し運行を維持しています。このような状況を踏まえて、以下の質問にお答えください。

問4(1) バスは運賃が高いという意見もありますが、安中市内でバスを利用する場合(市街地と郊外の移動も含む)、片道運賃の上限はどの程度なら乗っても良いとお考えですか？(1つに○)

- ①200円 ②400円 ③600円 ④その他(具体的に:)

問4(2) 安中市の路線バスのあり方についてどのようにお考えですか？(1つに○)

- ①更に路線バスを充実させて、利用促進を図るのが望ましい
②自家用車の普及に関わらず、現状に準じた路線バスを維持していくのが望ましい
③自家用車の普及と利用者の減少に合わせて、路線バスが縮小していくのはやむを得ない
④その他(具体的に:)

問4(3) 前の(2)の質問で①または②と回答した方にお聞きします。どのような理由で路線バスを維持・充実すべきとお考えですか？(○は2つまで)

- ①自分または家族が利用しているから
②ふだんは利用していないが、使いたい時があると便利だから
③自分は利用していないが、自家用車を利用できない人にとって重要な交通手段だから
④自家用車に比べて、環境負荷が少ないから ⑤今は利用しないが、将来必要になるから
⑥その他(具体的に:)

問4(4) 前の(2)の質問で①または②と回答した方にお聞きします。路線バスを維持・充実していくための費用負担について、どのような方法が望ましいとお考えですか？(1つに○)

- ①運賃収入でまかなえない分は、国や県の補助と市の予算で負担するのが望ましい
②沿線の住民や企業なども一部を負担するのが望ましい
③その他(具体的に:)

5. 交通弱者の方の公共交通機関利用についてお聞きします。

ここで言う「交通弱者」とは、高齢者や障害者等で、自家用車を保有せず、移動手段が公共交通機関に限られる方を指します。これを踏まえて、以下の質問にお答えください。

問5(1) 交通弱者の方が公共交通機関を利用する際の利用料は、一般市民の方よりも手厚く市が補助していますが、このことについてどのようにお考えですか？(例: 路線バスの敬老割引、タクシー利用券の交付等)

- ①手厚い補助を継続することが必要だと思う(理由:)
②手厚く補助する必要はないと思う(理由:)

問5(2) 前の(1)の質問で①と回答した方にお聞きします。交通弱者の方の公共交通機関利用料の補助について、以下の2つから選ぶとしたらどちらのほうがよいと思いますか？

- ① たとえ1人あたりの補助金額が少なくなっても、より多くの人を補助対象とした方がよい
② 今よりも補助対象者の制限を強めて、補助対象者の人数・割合を減らしても、補助する必要性の高い人に集中して補助した方がよい

問5(3) 75歳以上の方のみにお聞きします。「安中市タクシー利用券(タクシー券)」を利用していますか？(1つに○)

- ① 交付を受けており、日常的に利用してタクシーに乗車している
② 交付を受けており、時々利用してタクシーに乗車している
③ 交付を受けたが、それを利用してタクシーに乗車したことはない
④ 制度を知らなかったため、交付を受けていない
⑤ 制度は知っていたが、必要を感じない、または手続きが面倒なので、交付を受けていない

6. 公共交通を多くの方が利用して維持・確保するためのアイデアや、意見・要望などご記入ください。

.....
.....
.....
.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れた上で、市役所企画課までご返送をお願いします。

安中市公共交通に関する市民アンケート調査票

1. 最初にあなたご自身についてお聞きします。

(1) 性別 (1つに○)	①男性 ②女性
(2) 年齢 (1つに○)	①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代 ⑧80歳以上
(3) 職種 (1つに○)	①会社員・公務員 ②自営業 ③学生 ④専業主婦(夫) ⑤パート・アルバイト ⑥無職 ⑦その他()
(4) お住まいの地域 (1つに○)	①松井田 ②臼井 ③坂本 ④西横野 ⑤九十九 ⑥細野
(5) 運転免許証の有無 (該当するもの全てに○)	①免許なし ②自動車運転免許あり ③自動二輪車・原動機付自転車(原付)運転免許あり
(6) 自由に使用できる自動車などの保有状況 (該当するもの全てに○)	①自動車を持っていない ②自動車を持っている ③家族が自動車を持っている ④自動二輪車・原動機付自転車(原付)を持っている
(7) 市内の路線バスの運行状況 (1つに○)	①よくわかっていて ②まあまあわかっていて ③このアンケートで初めて知った

※市バス路線と時刻表は、同時資料をご参照ください。

2. あなたの日常的な外出についてお聞きします。

問2(1) あなたの外出頻度はどのくらいか教えてください。(1つに○)

①週5日以上 ②週2~4日程度 ③月1~4日程度 ④年に数日

問2(2) 下の表について、目的ごとに「主な行き先」の中からそれぞれ該当するものを1つ選びのをつけてください。() 内には具体的な名称、市名等をご記入ください。

	(A) 通勤・通学	(B) 買い物	(C) 通院	(D) 公共施設利用
主な行き先	①市内 ②高崎市 ③富岡市 () ④県内の市町村 () ⑤県外の市町村 () ⑥その他(市外含む) ()	①大型店舗 () ②商店街 () ③自宅周辺 () ④その他(市外含む) ()	①市内の総合病院 () ②市内の医院等 () ③市外の総合病院・医院 () ④その他 ()	①安中市役所 ②松井田支所 ③安中市文化センター ④松井田文化会館 ⑤老人福祉センター () ⑥その他 ()

問3(2) 路線バスが手軽に利用できたら行きたい場所を、下表から選んでください。(○は3つまで)

①安中市役所周辺 ②安中市文化センター ③安中市が「セーター」 ④老人福祉センター
⑤学童の森 ⑥雄水峠くつろぎの郷 ⑦郊外の大型店舗 ⑧金融機関
⑨その他、市内の店舗・学校・病院等(具体的に:)
⑩安中駅及び周辺 ⑪機師町及び温泉街周辺 ⑫松井田駅及び周辺
⑬西松井田駅及び松井田支所周辺 ⑭横川駅及び周辺 ⑮安中榛名駅及び周辺

問3(3) もしも、松井田地域内の各集落から、朝と夕方を中心に駅(電車)に連絡するバスが運行されるとしたら、利用できそうだと思いますか。(1つに○)

①利用できると思う ②家族が利用できると思う ③利用しないと思う ④わからない

4. 路線バスの維持・確保についてお聞きします。

現在、安中市内で運行されている路線バスは、ほぼ全てが県・市の補助金を投入し運行を維持しています。このような状況を踏まえて、以下の質問にお答えください。

問4(1) 「バスは運賃が高い」という意見もありますが、安中市内でバスを利用する場合(市街地と郊外の移動も含む)、片道運賃の上限はどの程度なら乗っても良いとお考えですか?(1つに○)

①200円 ②400円 ③600円 ④その他(具体的に:)

問4(2) 安中市の路線バスのあり方についてどのようにお考えですか?(1つに○)

①更に路線バスを充実させて、利用促進を図るのが望ましい
②自家用車の普及に関わらず、現状に準じた路線バスを維持していくのが望ましい
③自家用車の普及と利用者の減少に合わせて、路線バスが縮小していくのはやむを得ない
④その他(具体的に:)

問4(3) 前の(2)の質問で①または②と回答した方にお聞きします。どのような理由で路線バスを維持・充実すべきとお考えですか?(○は2つまで)

①自分または家族が利用しているから
②ふだんは利用していないが、使いたい時があると便利だから
③自分は利用していないが、自家用車を利用できない人にとって重要な交通手段だから
④自家用車に比べて、環境負荷が少ないから ⑤今は利用しないが、将来必要になるから
⑥その他(具体的に:)

問4(4) 前の(2)の質問で①または②と回答した方にお聞きします。路線バスを維持・充実していくための費用負担について、どのような方法が望ましいとお考えですか?(1つに○)

①運賃収入でまかなえない分は、国や県の補助と市の予算で負担するのが望ましい
②沿線の住民や企業なども一部を負担するのが望ましい
③その他(具体的に:)

問2(3) 安中市内への外出時によく利用している主な交通手段を教えてください。(○は2つまで)

①路線バス ②鉄道 ③自家用車(自分の運転) ④自家用車(家族などの送迎)
⑤タクシー ⑥バイク(原動機付付き自転車を含む) ⑦自転車 ⑧その他()

問2(4) 外出時の主な交通手段として、「①路線バス」を回答した方にお聞きします。ふだん、乗り降りするバス停について、具体的にバス停の名称をご記入ください。名称が分からない場合は、地区名等をご記入ください。

自宅近くのバス停または地区名:() 目的地のバス停または地区名:()

問2(5) 外出時の主な交通手段として、「①路線バス」を回答しなかった方にお聞きします。ふだん路線バスを利用しない理由は何ですか?(○は2つまで)

①路線バスでの行き方や運行時刻、所要時間などがわからないから
②利用したいと思うが、目的地へ行く路線がない、または最寄りのバス停が自宅から遠いから
③利用したいと思うが、運行本数が少なく、行きたい時刻と合わないことが多いから
④自家用車利用に比べて費用や時間がかかり過ぎるから
⑤自家用車・バイク・自転車等で移動した方が便利だから
⑥路線バスで移動することをほとんど考えることがないから
⑦その他(具体的に:)

問2(6) 外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか?(1つに○)

①よくある ②たまにある ③ほとんどない ④全くない

問2(7) 前の質問で①または②を回答した方にお聞きします。どのような目的で外出する時に困りますか?(2つまで○)

①運動 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤公共施設・金融機関の利用
⑥趣味・遊び等 ⑦その他(具体的に:)

3. 路線バスの改善要望や、今後の利用意向についてお聞きします。

問3(1) 路線バスについて、改善してほしいことはありますか?(○は2つまで)

①運行本数の増便や運行時間帯の拡大をしてほしい
②バス同士の乗り継ぎや鉄道との接続を良くしてほしい
③バス停にベンチや屋根などの快適な待合空間を整備してほしい
④バス利用のための時刻表や路線図などの情報提供を充実してほしい
⑤バスの床を低くしたり、ドアを広くしたりして、乗り降りしやすいバスを走らせてほしい
⑥バスの案内や回数券・定期券などを販売する窓口を、駅や市役所などに設置してほしい
⑦その他(具体的に:)

5. 交通弱者の方の公共交通機関利用についてお聞きします。

ここで言う「交通弱者」とは、高齢者や障害者等で、自家用車を保有せず、移動手段が公共交通機関に限られる方を指します。これを踏まえて、以下の質問にお答えください。

問5(1) 交通弱者の方が公共交通機関を利用する際の利用料は、一般市民の方より手厚く市が補助していますが、このことについてどのようにお考えですか。

(例: 路線バスの敬老割引、タクシー利用券の交付等)
① 手厚い補助を継続することが必要だと思う(理由:)
② 手厚く補助する必要はないと思う(理由:)

問5(2) 前の(1)の質問で①と回答した方にお聞きします。交通弱者の方の公共交通機関利用料の補助について、以下の2つから選ぶとしたらどちらのほうがよいと思いますか。

① だとなし1人あたりの補助金額が少なくなっても、より多くの人を補助対象とした方がよい
② 今よりも補助対象者の制限を強めて、補助対象者の人数・割合を減らしても、補助する必要性の高い人に集中して補助した方がよい

問5(3) 70歳以上の方にのみお聞きします。「安中市タクシー利用券(タクシー券)」を利用していますか。(1つに○)

① 交付を受けており、日常的に利用してタクシーに乗車している
② 交付を受けており、時々利用してタクシーに乗車している
③ 交付を受けたが、それを利用してタクシーに乗車したことはない
④ 制度を知らなかったため、交付を受けていない
⑤ 制度は知っていたが、必要を感じない、または手続きが面倒なので、交付を受けていない

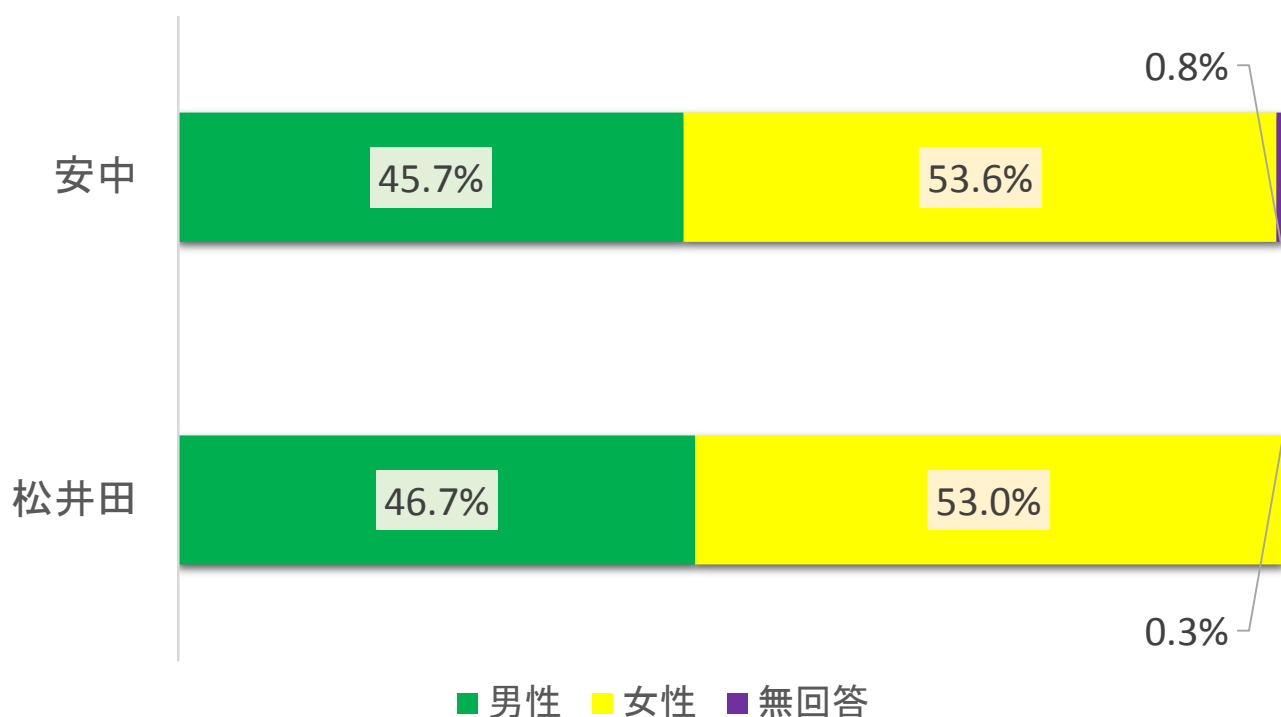
6. 公共交通を多くの方が利用して維持・確保するためのアイデアや、意見・要望などで思いつくことを記入していただけますと幸いです。

.....
.....
.....

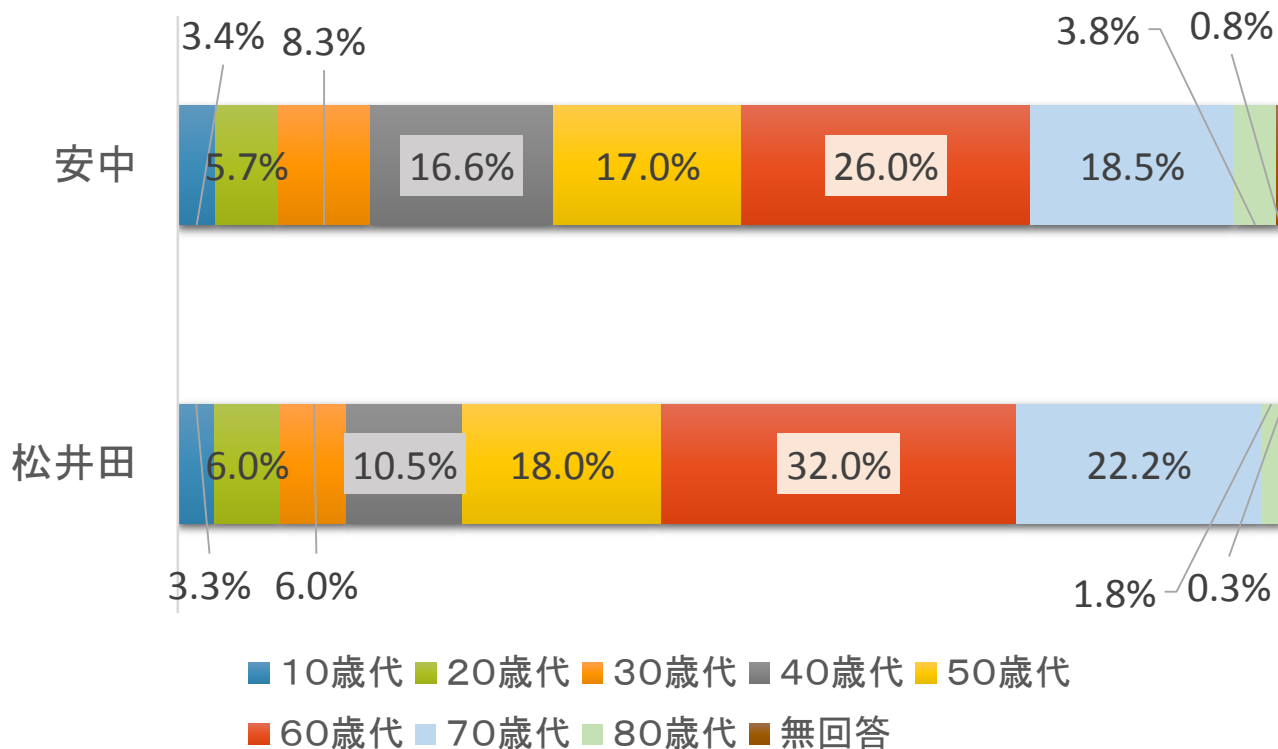
以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れた上で、市役所企画課までご返送をお願いします。

(A)回答者属性(性別・年齢)

属性:性別



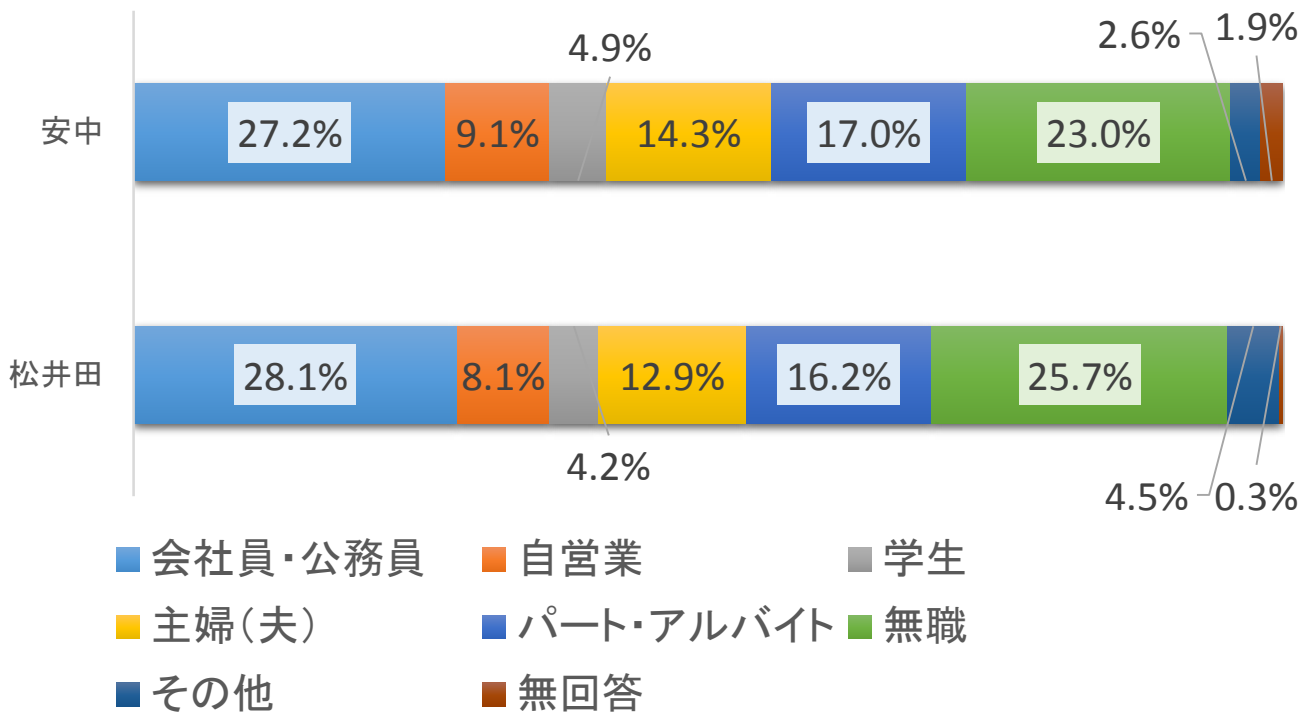
属性:年齢



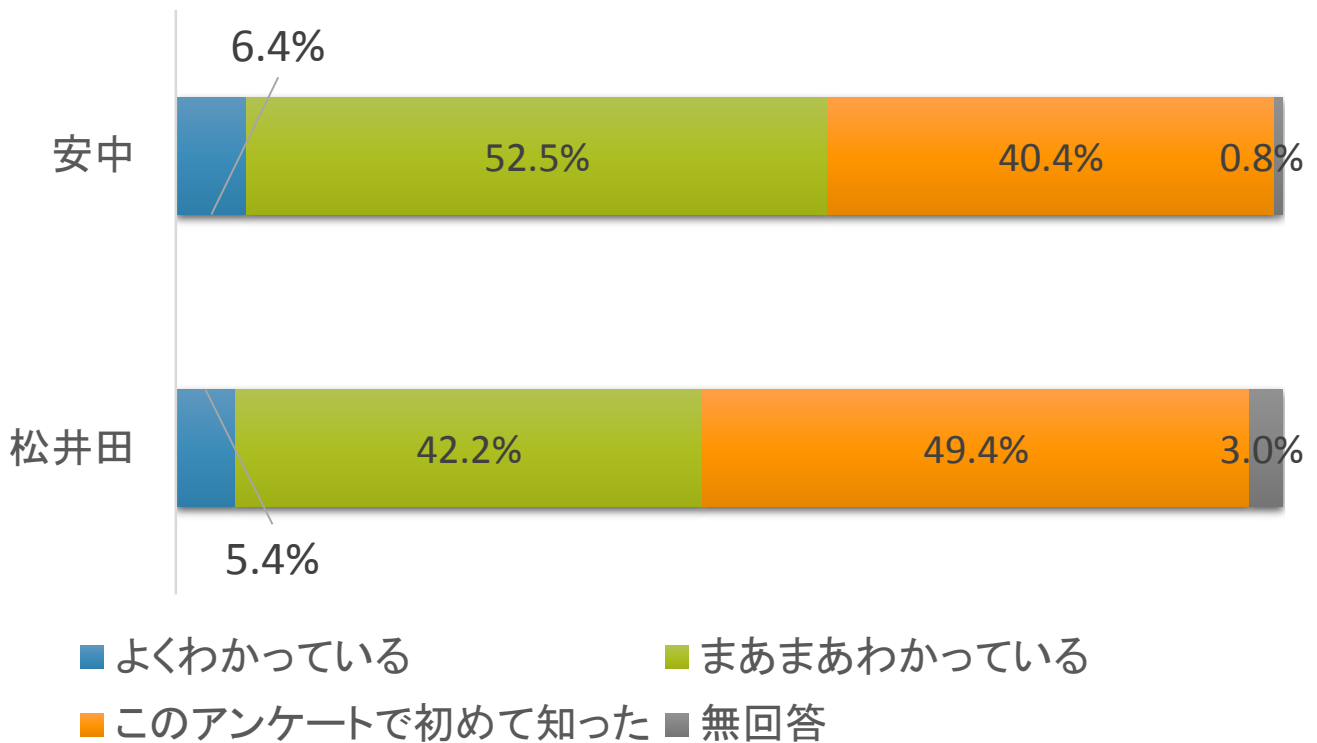
回答者の性別は、安中地域、松井田地域ともに、「女性」の方がやや高くなりました。年齢別に見ると、60歳以上の回答が安中地域で48.3%、松井田地域で56%と、おおむね半数を占めました。

(A) 回答者属性(職業・バスの認識)

属性: 職業



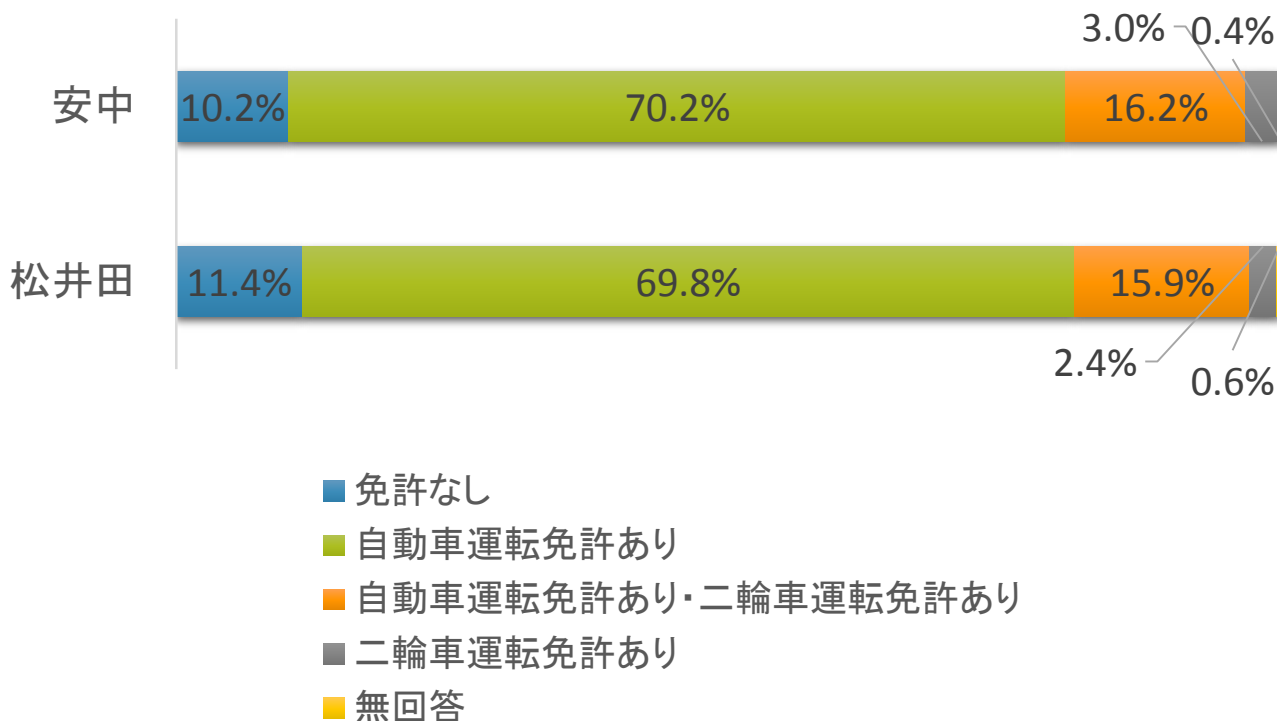
属性: これまでの市内バス路線の認識



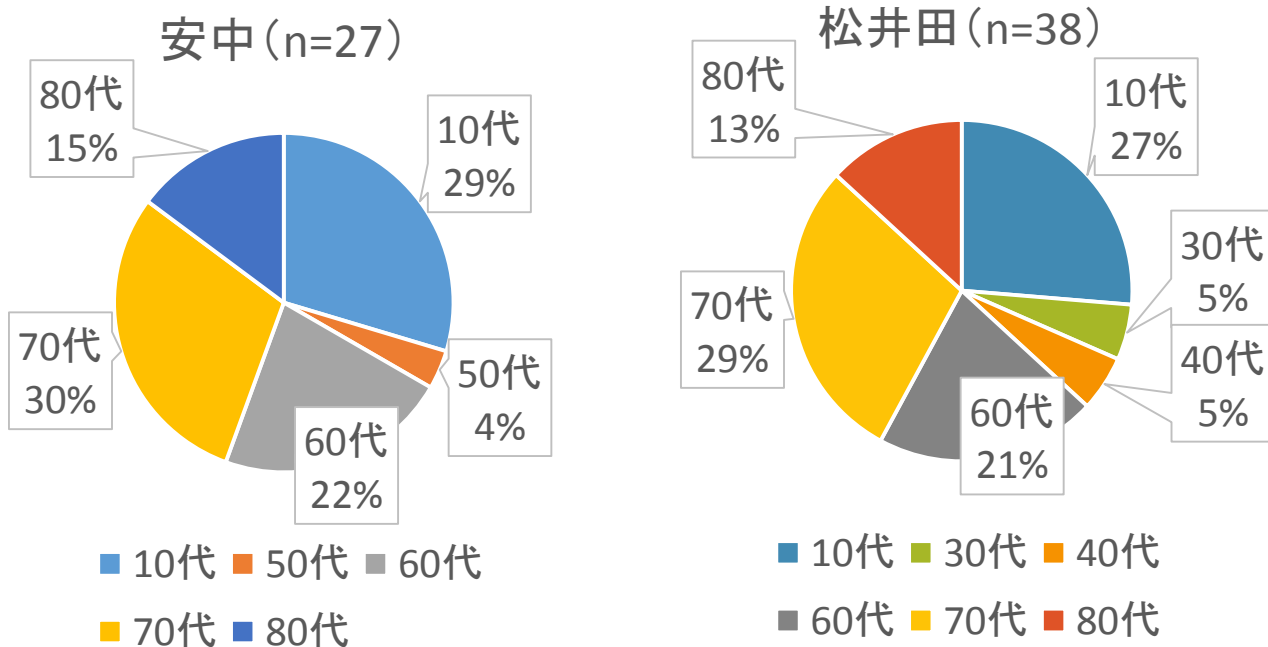
職種は安中地域、松井田地域ともに「会社員・公務員」「無職」「パート・アルバイト」の順で高くなりました。市内バス路線認識については、「このアンケートで初めて知った」との回答が半数近くであり、日ごろ公共交通にはなじみの薄いことがうかがえます。

(A) 回答者属性(運転免許の有無)

属性: 運転免許の有無



(運転免許非保有者の年齢構成)

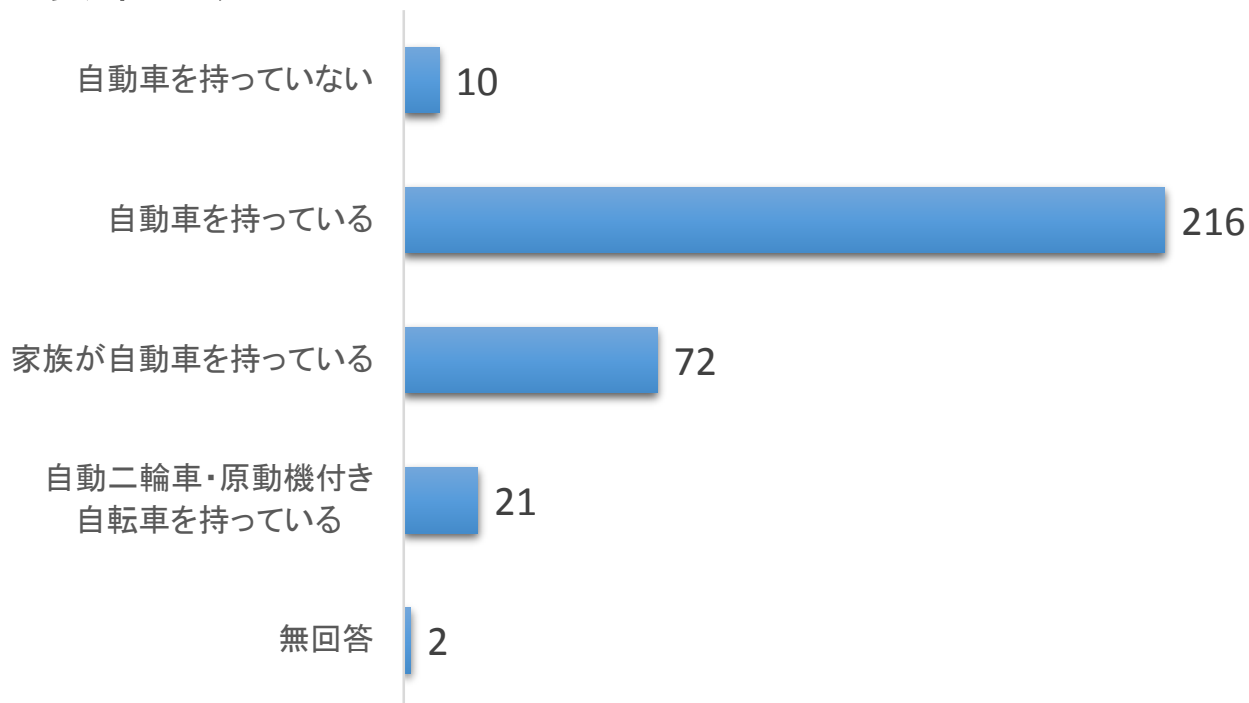


「自動車運転免許を保有している」という回答は、いずれの地域でも85%を超えており、自動車・二輪車いずれの免許も持っていないという回答は10%程度でした。また、「免許を持っていない」と回答した人の年齢構成は、60代以上が60%を超えました。

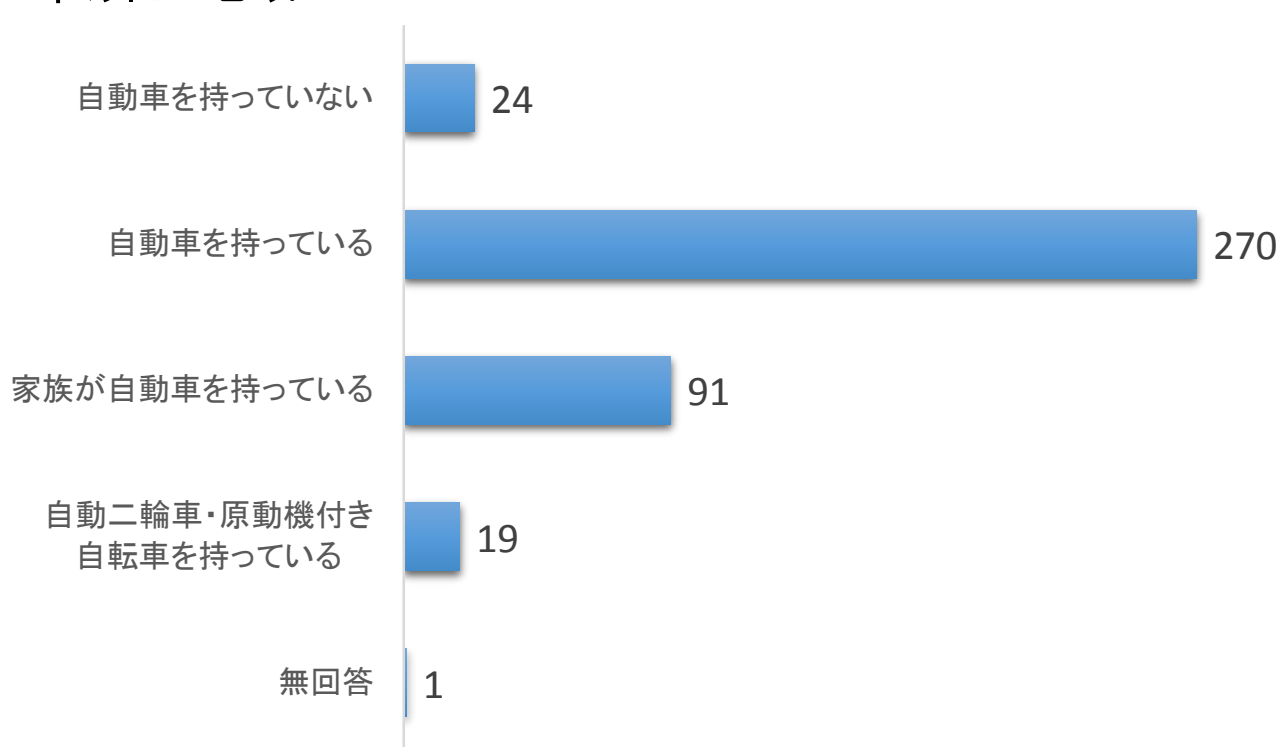
(A) 回答者属性(自動車の保有状況)

属性: 自動車等の保有状況(該当するものすべて)

■安中地域



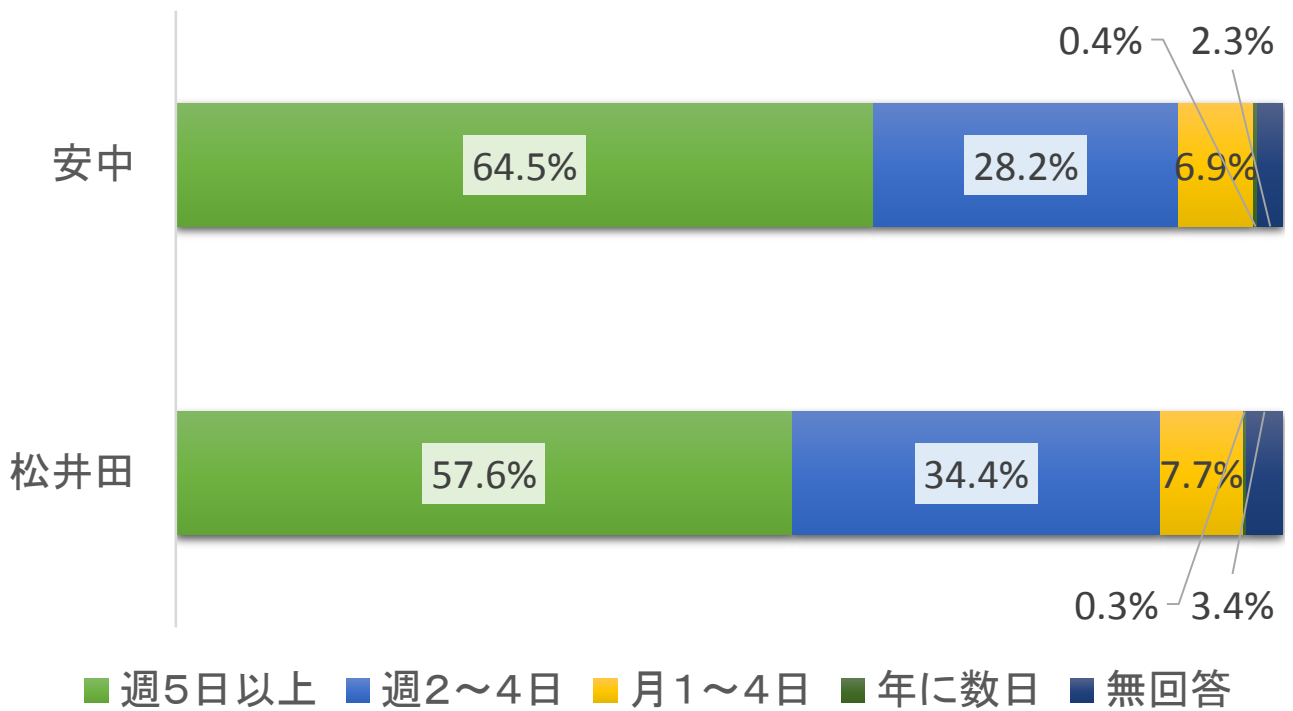
■松井田地域



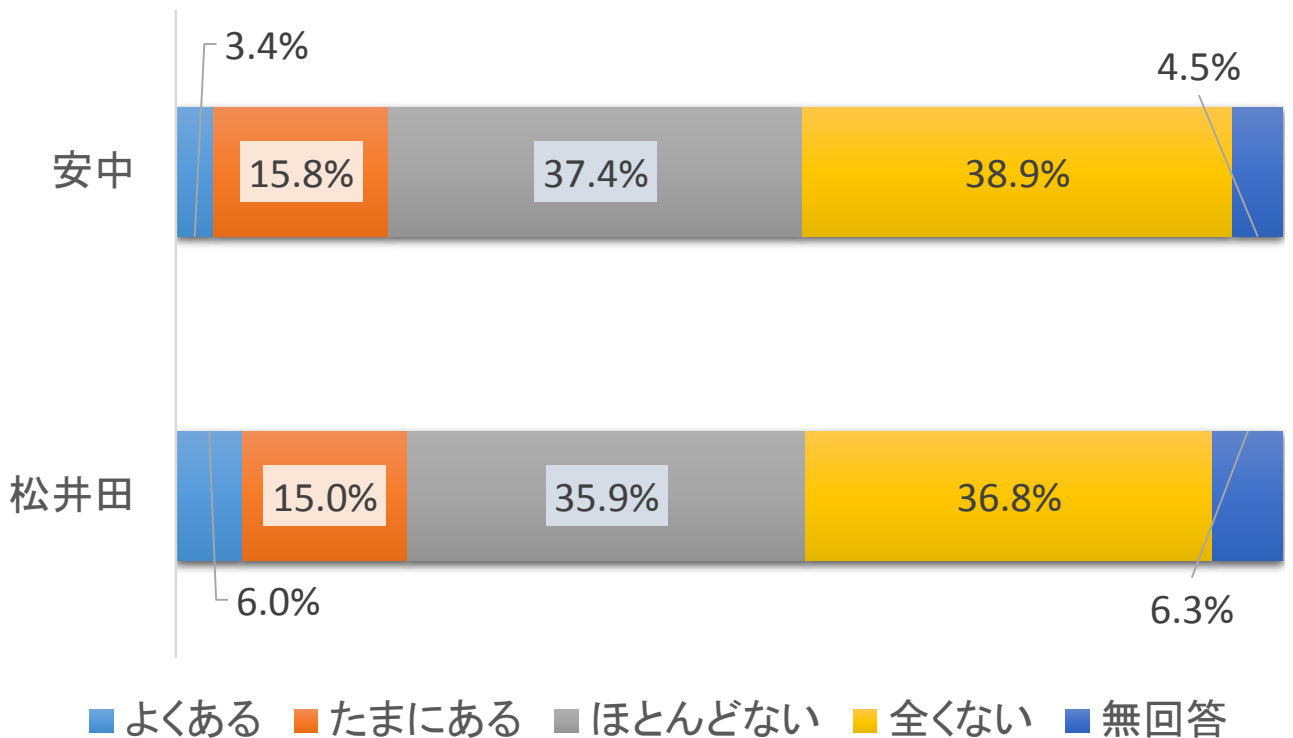
自動車などの移動手段の保有状況について、複数回答可として質問しました。大多数が「自分または家族が」「自動車または二輪車を保有している」状況であり、「自分自身も、家族も自動車を持っていない」人は、安中で10人(3.7%)、松井田で24人(7.1%)でした。

(B) 日常的な外出行動(頻度)

Q あなたの外出頻度について教えてください



Q 外出の時に交通手段がなくて困ることがありますか

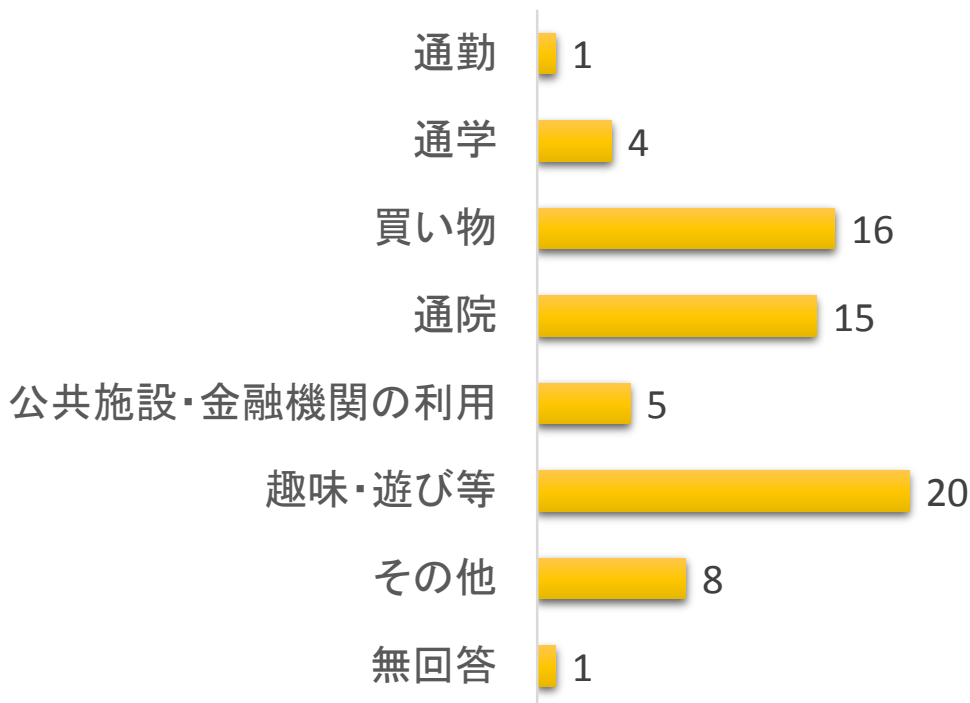


外出頻度は、いずれの地域でも「週5日以上」が過半数である一方、「週1回以下」の回答も1割程度見受けられました。また、外出時に交通手段がなく困ることの有無については「よくある」「たまにある」との回答がおおむね2割程度ありました。

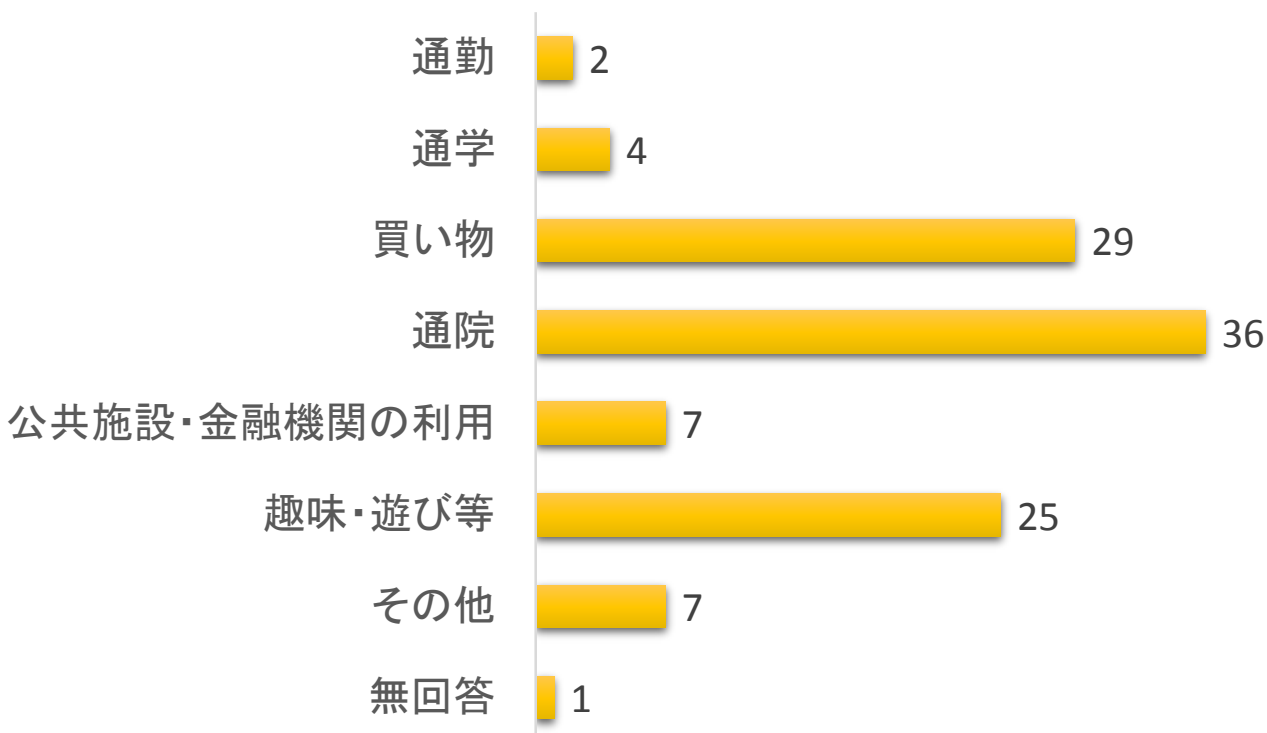
(B) 日常的な外出行動(困ることの有無)

Q どのような目的で外出するとき困りますか(2つまで)

■安中地域(n=70)



■松井田地域(n=111)

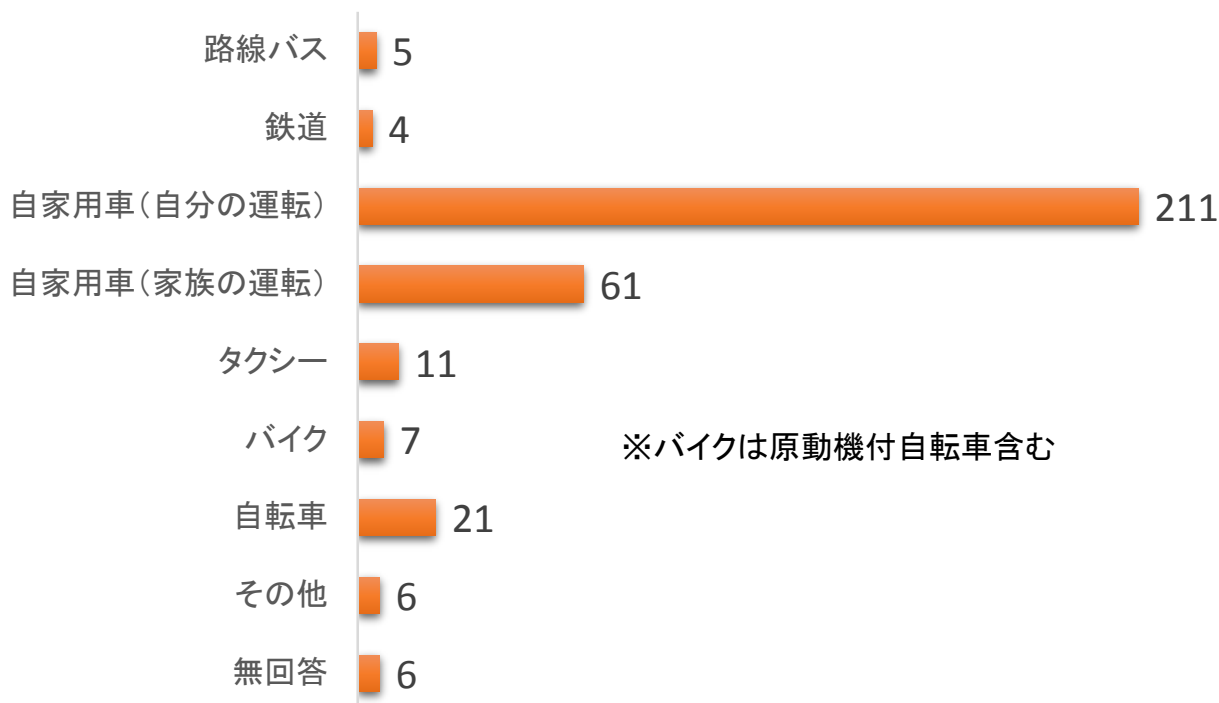


外出時に困ることが「よくある」「たまにある」と回答した方を対象に、どのような目的の外出の際に困るか質問したところ、安中地域では「趣味・遊び」との回答が最も多くなりました。一方、松井田地域では「通院」が顕著に多く、次いで「買い物」という回答が多い結果となりました。

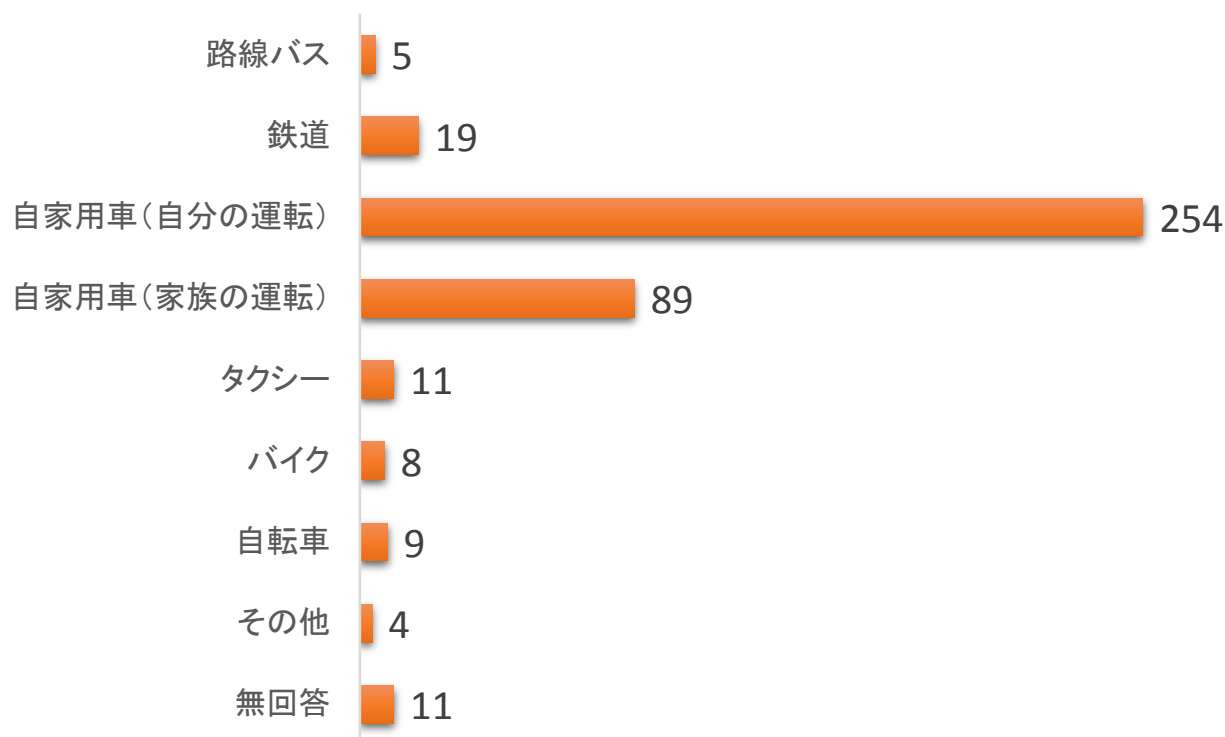
(B) 日常的な外出行動(交通手段)

Q 市内への外出によく利用する交通手段は何ですか(2つまで)

■安中地域



■松井田地域

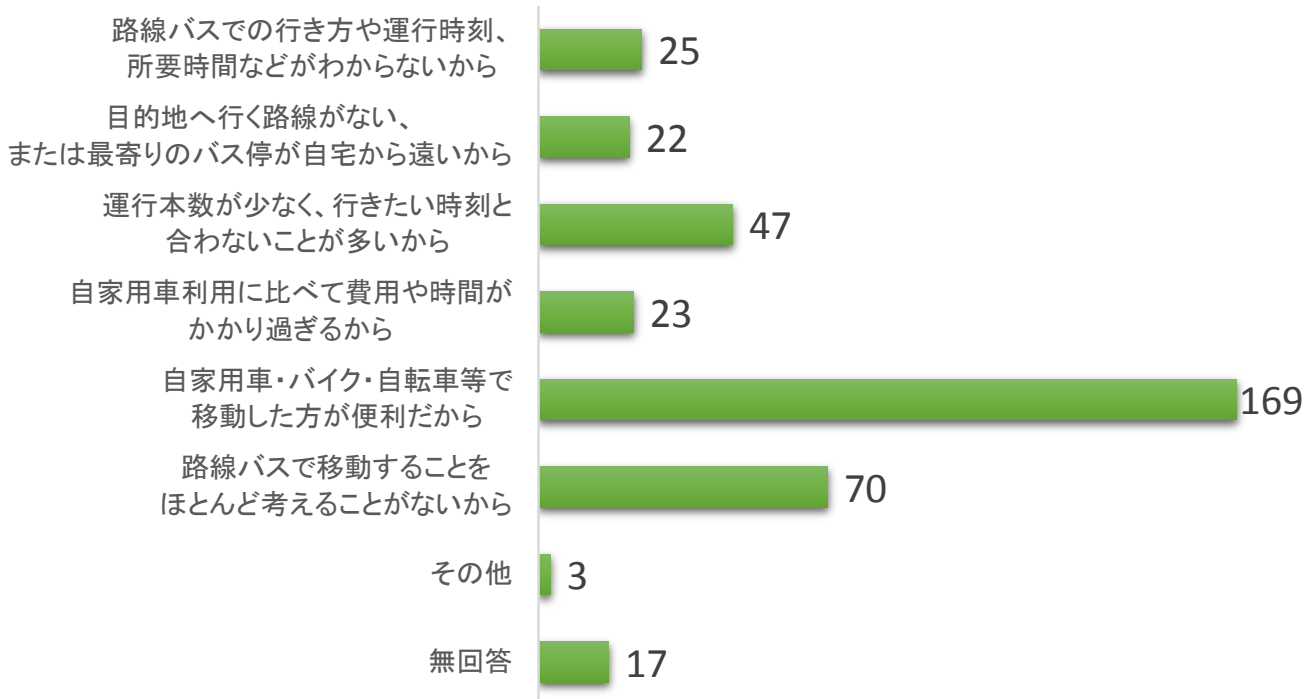


市内への外出時によく利用する交通手段について、複数回答可で質問しました。バスをよく利用している人は安中地域で5人(回答者数の1.8%)、松井田地域で5人(同1.4%)。また、鉄道をよく利用している人は安中で4人(同1.5%)、松井田で19人(同5.5%)であり、公共交通を日常的に利用する人は些少であるとみられます。

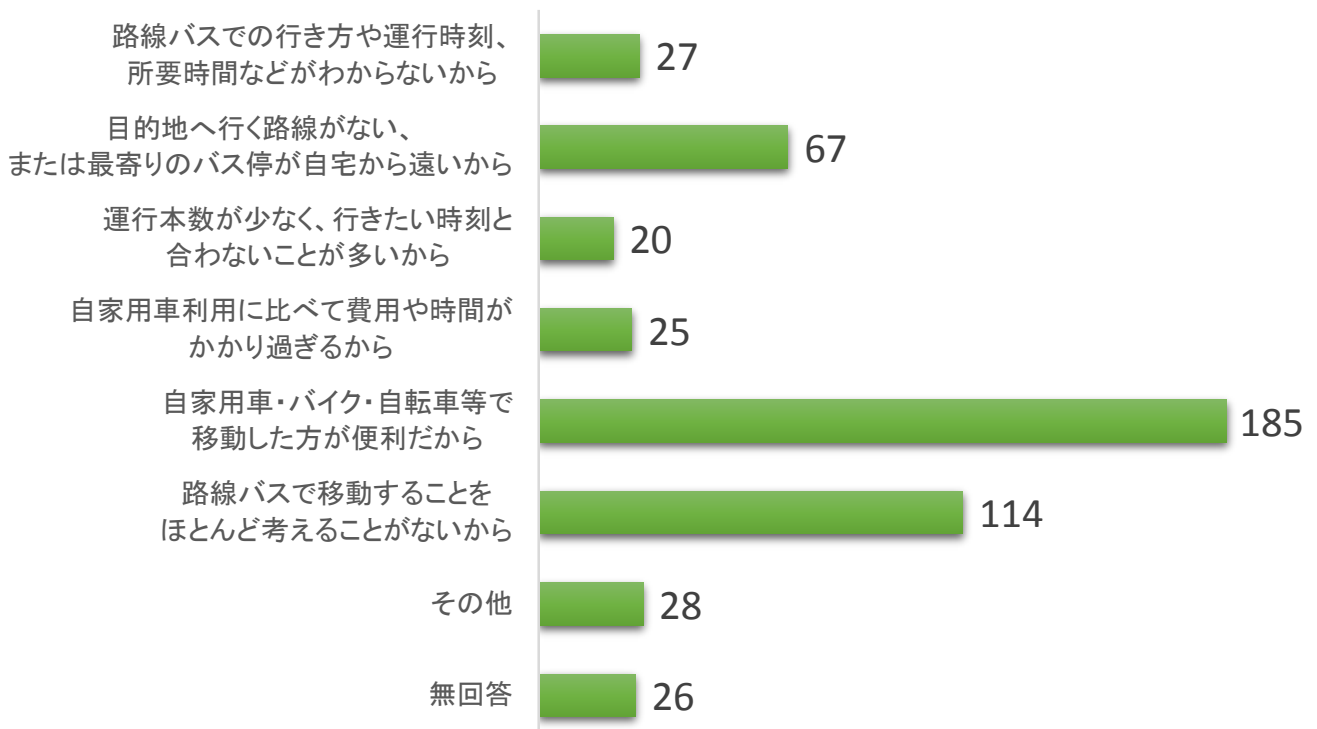
(B) 日常的な外出行動(バスを利用しない理由)

Q 普段路線バスを利用しない理由は何ですか(2つまで)

■安中地域(n=260)



■松井田地域(n=329)



「外出時の主な交通手段」で「路線バス」を選択しなかった人を対象に質問しました。いずれの地域も「自家用車・バイク・自転車等で移動した方が便利」「路線バスで移動することをほとんど考えることがない」が上位でした。松井田地域には路線がほぼないため「目的地へ行く路線がない」も安中地域に比べて多く見られました。

(B) 日常的な外出行動(バスを利用しない理由)

前問で「その他」と答えた自由記述について集計しました。

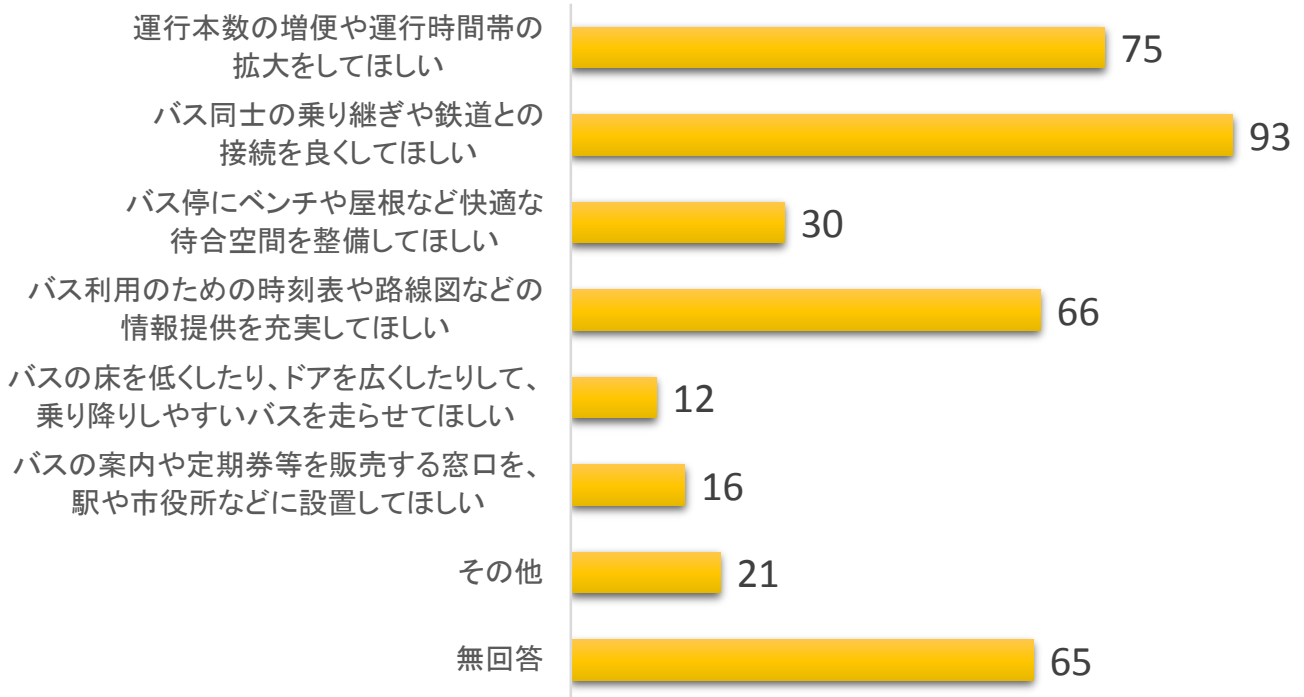
※記述内容の最後に件数が表示されていないものは1件を示す。

地区	記述内容
安中地区	● 自分で運転しているので困らない。
原市地区	● 自分で運転できるうちは路線バスは使わないと思う。
松井田地区	● そもそも路線バスが走っていない地区である(2件)。 ● 現在バスに乗ることを考えていない。 ● まだ自分で運転できる。駅直行便があったら将来利用するかもしれない。 ● タクシーで高くなる時だけ路線バスに乗っている。
臼井地区	● そもそも路線バスが走っていない地区である(2件)。
坂本地区	● そもそも路線バスが走っていない地区である(2件)。 ● 足が悪いので娘に頼んで世話になっている。
西横野地区	● そもそも路線バスが走っていない地区である(7件)。 ● 運行本数が少なく、また行き先も限られていて行きたい場所に行けないから。 ● 利用しないので分からない。
九十九地区	● そもそも路線バスが走っていない地区である(2件) ● 利用の回数が多いわけではなく地理的にも自家用車で十分。空席のバスを走らせるのはもったいない
細野地区	● そもそも路線バスが走っていない地区である(3件) ● 必要ない

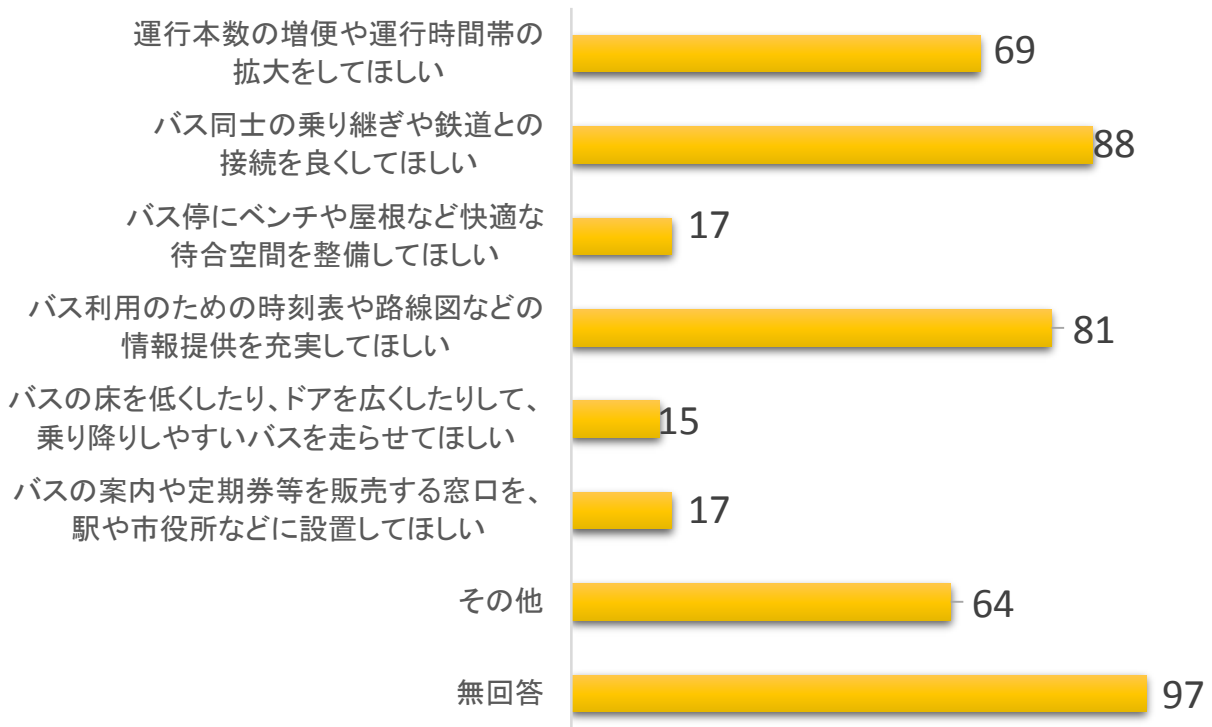
(C) 路線バスの改善要望・利用意向

Q 路線バスに改善してほしいことはありますか(2つまで)

■安中地域



■松井田地域



バスの改善要望としては、「バスの乗り継ぎや鉄道との接続をよくしてほしい」が特に多くなっています。1路線のみ運行の松井田地域では、「そもそも近くにバスが走っていない」をはじめ、「その他意見」として具体的な要望の記入が多く見受けられました。

(C) 路線バスの改善要望・利用意向

Q 路線バスについて改善してほしいことはありますか

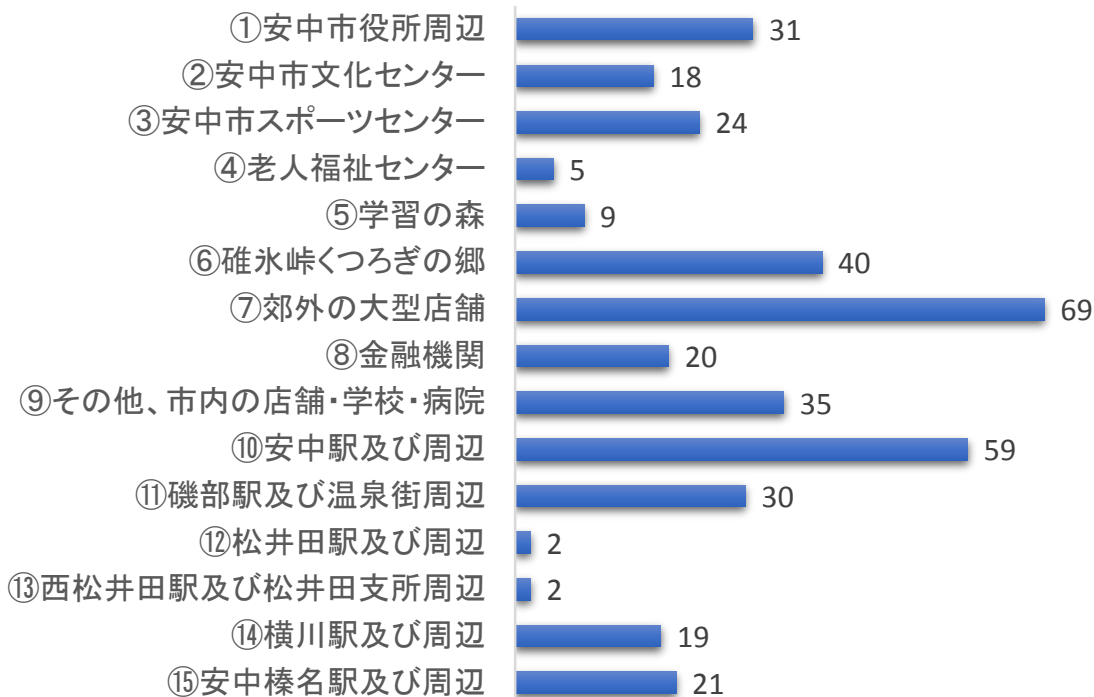
※記述内容の最後に件数が表示されていないものは1件を示す。

地区	記述内容
安中地区	<ul style="list-style-type: none">● 年末年始、土・日の運行をしてほしい。
原市地区	<ul style="list-style-type: none">● 特別のことがなければほとんど空車状態。何とか方法を考えたほうが良い。● 市外、高崎行きなど通学、通勤、買い物に便利な路線があると良い。● 安中榛名駅より新幹線を時々利用する際、バスで行きたいが、まったく接続していないので不便さを感じる。● バス停以外でも乗車できたら良い。
磯部地区	<ul style="list-style-type: none">● 空気を運ぶバスは止めたほうが良い。● 市民が行先を設定したい。
東横野地区	<ul style="list-style-type: none">● 廃止してもよいのでは。
板鼻地区	<ul style="list-style-type: none">● 出かけた人のためにタクシー券を利用するのと乗る人のいないバスを維持するのではどちらが安価か。
後閑地区	<ul style="list-style-type: none">● 市外に通学している学生たちのために、JRの駅に直結できる便がほしい
松井田地区	<ul style="list-style-type: none">● 磯部～松井田市役所、松井田～安中駅がほしい。● バスは利用しない・できないので改善要望はない(3件)。● 松井田市内から細野、横川、西横野は路線バスがなく、老人が買物に行けず困っている。
臼井地区	<ul style="list-style-type: none">● 山間地でも手軽に利用できたらほしいです。● 駅に到着する電車との接続の良い路線バス● 臼井、坂本地域にバスを動かしてほしい
坂本地区	<ul style="list-style-type: none">● 路線バスが来ていないので山間部でも毎日でなくとも来てほしい● 松井田-入山、坂本間のバスができればありがたい。● 車椅子や身体の不自由な人が利用しやすいようにまた介助もお願いしやすいようにしてほしい。● お金をかけないで、利便性を向上させるアイデアを。行き先を〇〇病院とか〇〇スーパーとか分かりやすくするなど。● 以前は峠の湯の送迎バスがあり何故やめてしまったのか。● 運転できない方が利用しやすい仕組みにしてほしい
西横野地区	<ul style="list-style-type: none">● 他のコミュニティーとも連携して、乗り継ぎを容易にしてはどうか。路線が直線的であるから、曲線を使うべき。● 西横野地区にバス路線を通してほしい(9件)。● 車いすのため自家用車が多いです● バス路線を人口密度に応じて変更してほしい。
九十九地区	<ul style="list-style-type: none">● バスは利用しない・できないので改善要望はない(2件)。● 九十九地区にバス路線を通してほしい(4件)。● 車輛自体の小型化による省エネ化。● バス乗り場が自宅周辺にあれば利用するかもしれない。
細野地区	<ul style="list-style-type: none">● バス停に関係なく途中下車させてほしい● バスを利用する方が少ないのなら、電話をすれば家まで来てくれるといったタクシーのようにして、値段もバス料金にするスタイルがよいと思う。● 細野地区にバス路線を通してほしい(5件)。● バスは利用しない・できないので改善要望はない。● 小型のバス(乗合いタクシー)で山間部に来てほしい● デマンド運転バスを運行してほしい

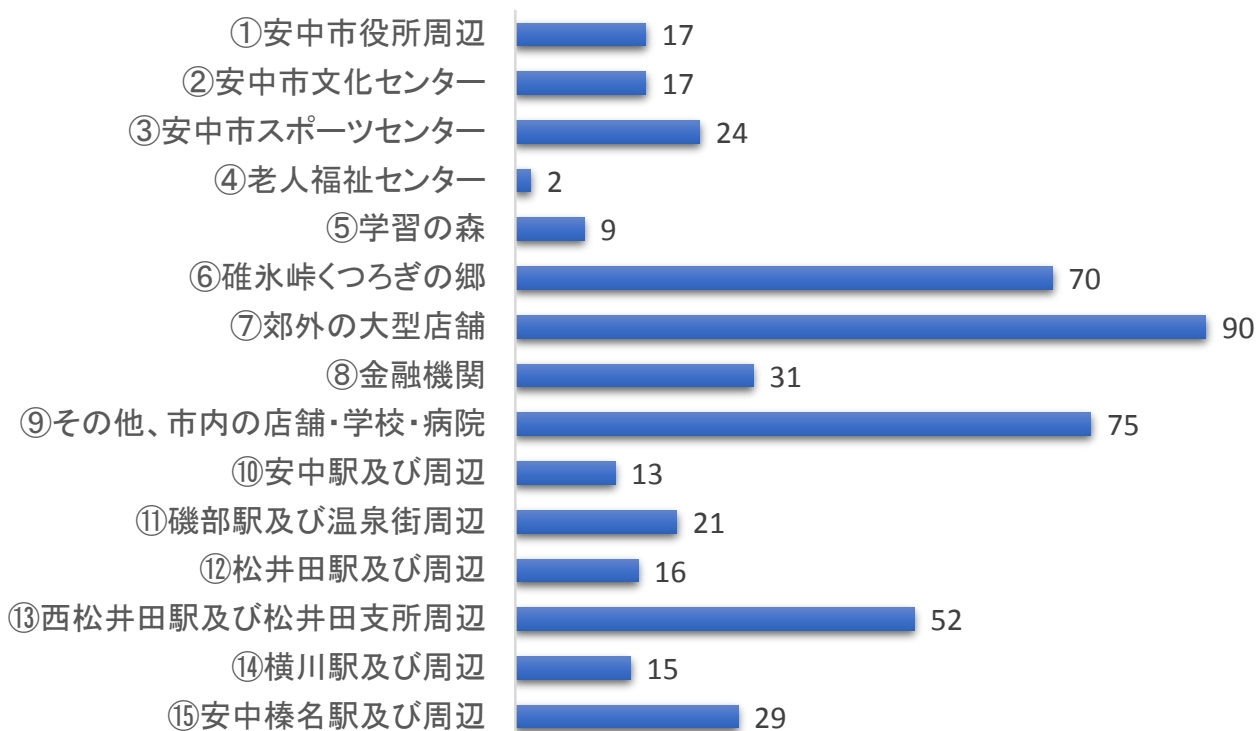
(C) 路線バスの改善要望・利用意向

Q バスが気軽に使えたら行きたい場所はどこですか(3つまで○)

■安中地域



■松井田地域



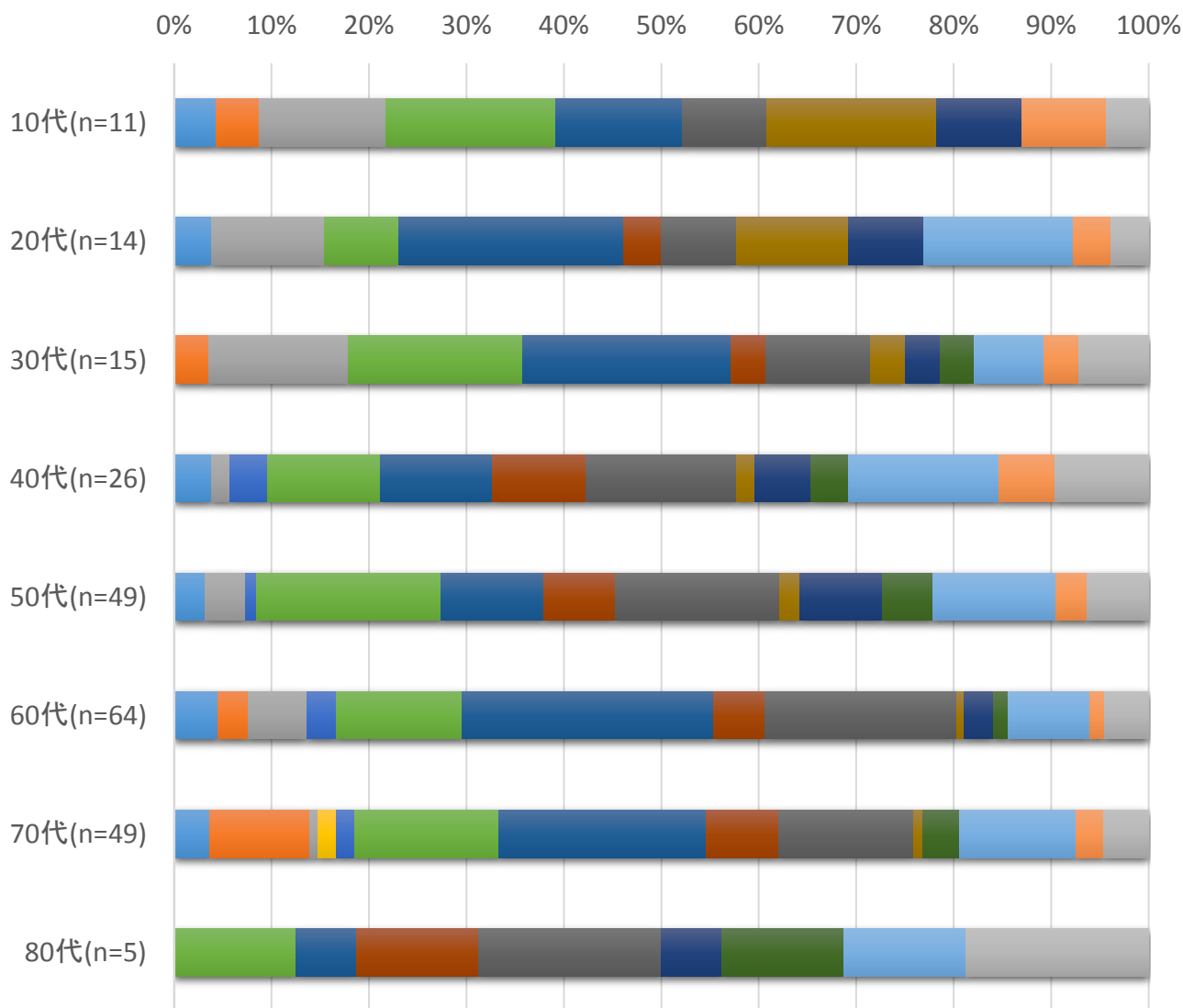
安中地域・松井田地域ともに「気軽にバスが使えたら行きたい場所」として「郊外の大型店舗」が最も多く挙がりました。また、自由記述で挙げられたのは「碓氷病院」「本多病院」「ヤオコー」「セキチュー」など、通院や買い物のための目的地が多く見受けられました。

(C) 路線バスの改善要望・利用意向

(年代別) バスが気軽に使えたら行きたい場所はどこですか

松井田地域では「郊外の大型店舗」のほかに、ほぼ全ての年代で「碓氷峠くつろぎの郷」との回答が多く見られました。

■ 松井田地域

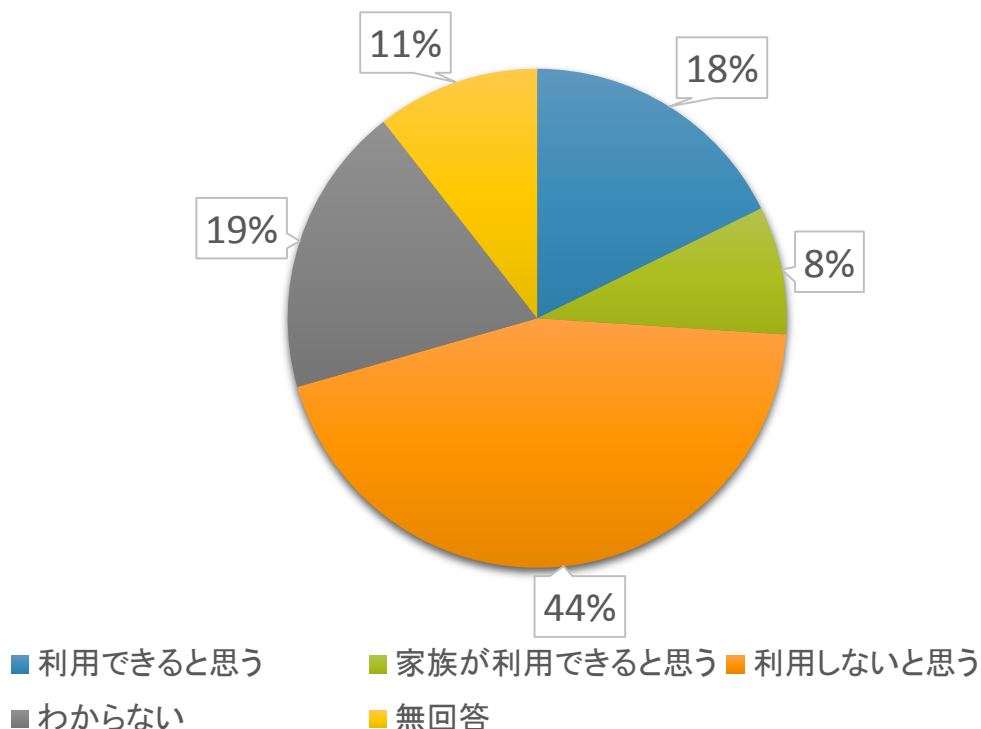


- ①安中市役所周辺
- ②安中市文化センター
- ③安中市スポーツセンター
- ④老人福祉センター
- ⑤学習の森
- ⑥碓氷峠くつろぎの郷
- ⑦郊外の大型店舗
- ⑧金融機関
- ⑨その他、市内の店舗・学校・病院
- ⑩安中駅及び周辺
- ⑪磯部駅及び温泉街周辺
- ⑫松井田駅及び周辺
- ⑬西松井田駅及び松井田支所周辺
- ⑭横川駅及び周辺
- ⑮安中榛名駅及び周辺

(C) 路線バスの改善要望・利用意向

Q もしも市街の中心道路に沿って、毎時2～3本のバスが走ったとしたら、そのバスを利用しますか。
(安中地域のみ設問)

■ 安中地域



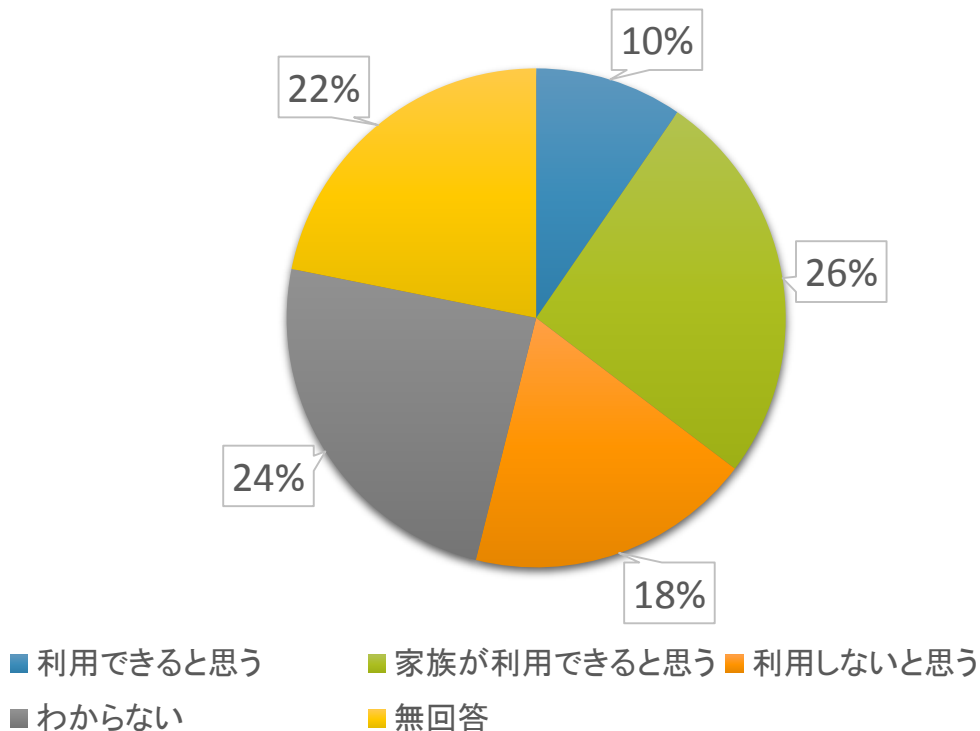
ここでは、安中地域と松井田地域の地域実情に応じて独自質問を設定しました。安中地域では、「もしも、安中市街の中心道路に沿った経路(碓氷病院～安中駅～板鼻周辺)に毎時2～3本のバスが走ることになったら、そのバスを利用できると思いますか」という設問としました。

これに対し、「利用できると思う」「家族が利用できると思う」と、利用意向を示した回答が26%、「利用しないと思う」との回答が44%となりました。

(C) 路線バスの改善要望・利用意向

Q もしも、松井田地域の各集落から、駅に接続するバス路線があったら、利用しますか。
(松井田地域のみ設問)

■ 松井田地域

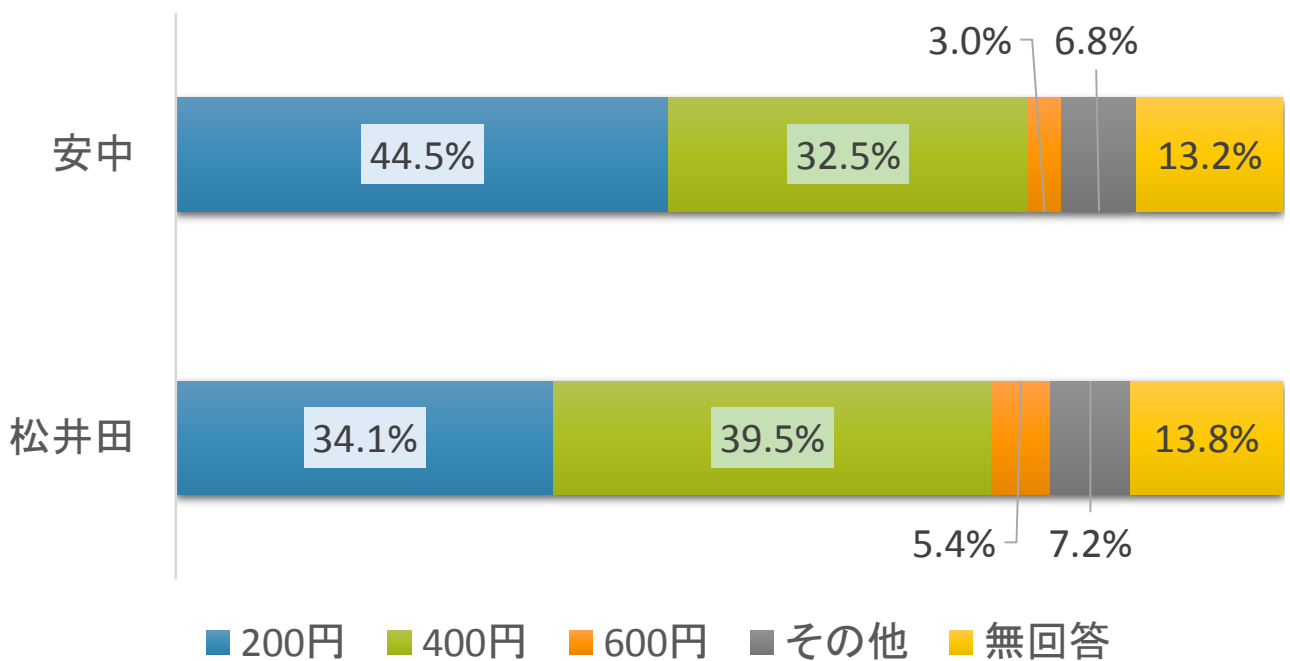


松井田地域では、「もしも、松井田地域内の各集落から、朝と夕方を中心に駅(電車)に連絡するバスが運行されるとしたら、利用できそうだと思いますか」という設問としました。

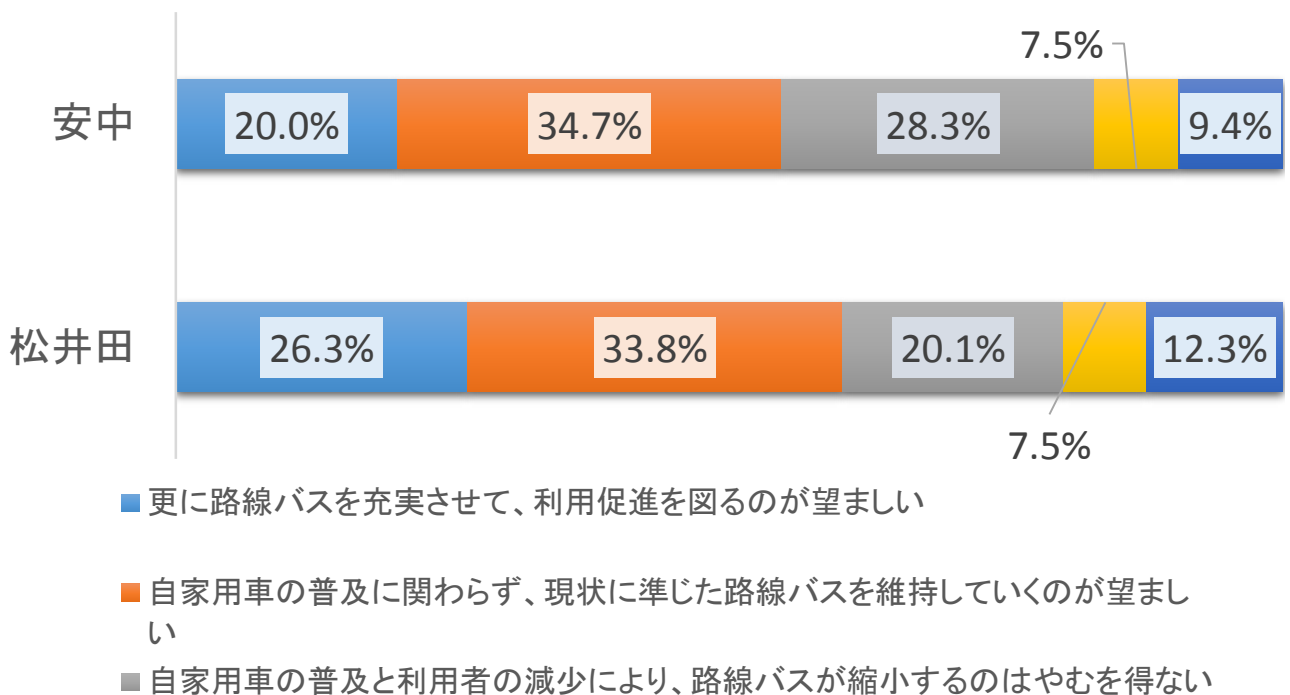
これに対し、「利用できると思う」「家族が利用できると思う」との利用意向を示した回答が36%と高い割合でした。一方で「利用しないと思う」との回答は18%でした。

(D) 路線バスの維持・確保

Q 市内バスの片道運賃はいくらまでがよいですか



Q 市内の路線バスのあり方についてどう考えますか



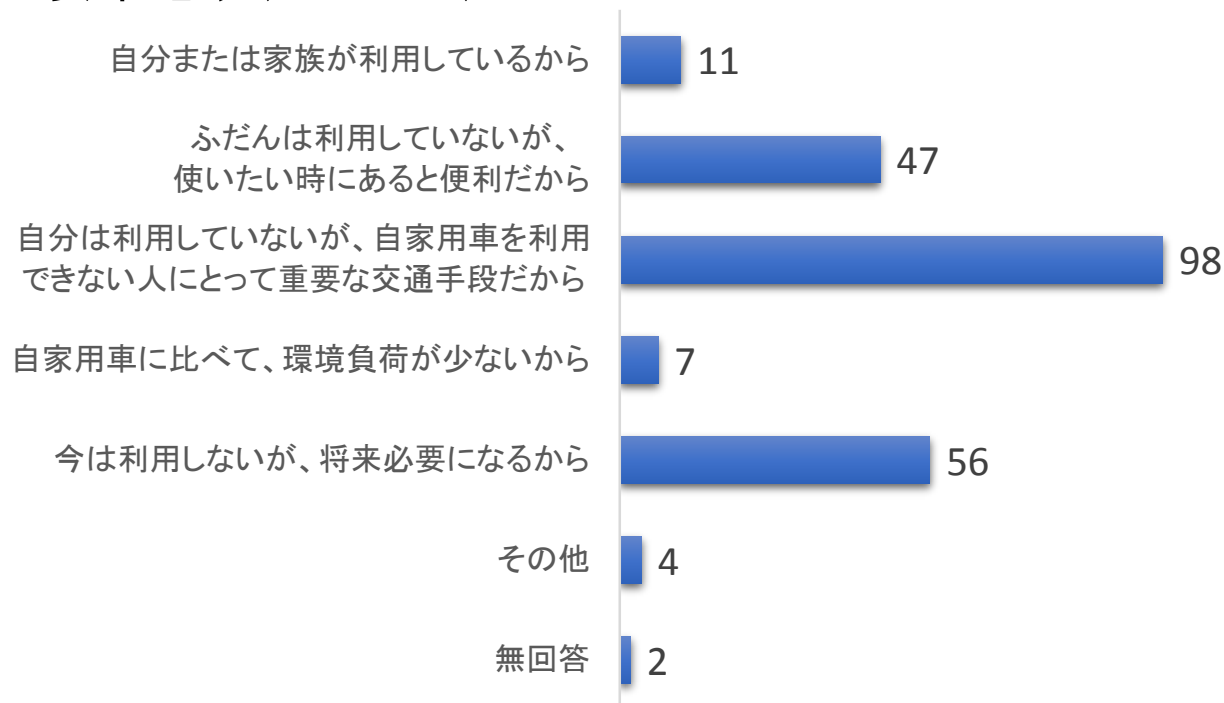
バスを利用する際に払ってもよい金額として、安中地域は「200円」、松井田地域は「400円」が多い結果となりました。なお、「400円まで」と回答した人がいずれの地域も7割を超えました。

路線バスのあり方としては、いずれの地域も「更なる路線バスの充実」「現状に準じたバス路線の維持」と、維持・確保に肯定的な回答をした人が過半数でした。一方で、「縮小はやむを得ない」とした回答も安中地域で28.3%、松井田地域で20.1%ありました。

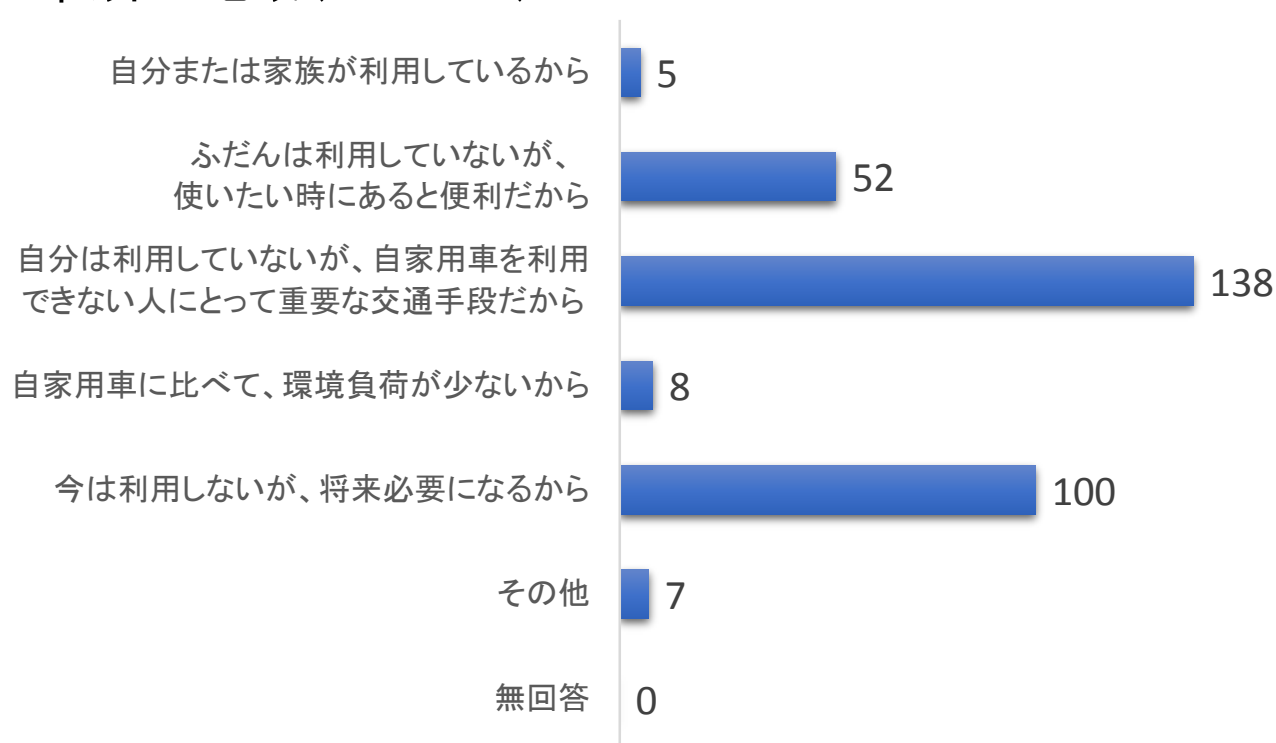
(D) 路線バスの維持・確保

Q 路線バスを維持・確保すべき理由は何ですか(2つまで)

■安中地域(n=145)



■松井田地域(n=201)



前問で、路線バスの維持確保に肯定的な回答をした人に、維持すべき理由を質問しました。「自分または家族が利用しているから」という直接的な理由は些少にとどまり、「自家用車を利用できない人にとって重要な交通手段だから」との回答が最も多くなりました。

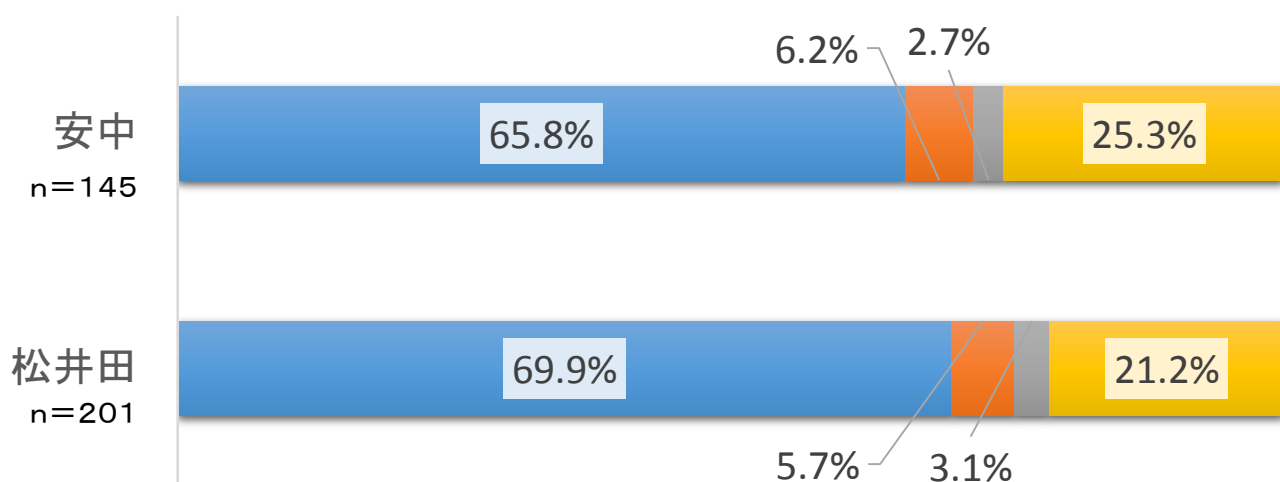
路線バスの維持・確保(維持すべき理由)

■ その他で書かれた意見

地域	記述内容
安中地域	<ul style="list-style-type: none">● 交通安全の観点からも、年少者、高齢者向けにバスの充実を● バスがなくなったら出かけることができないから。● 免許返納した高齢者や、障害者の方のためにならず必要だから(3件)。● 市内の交流人口を増やすために必要
松井田地域	<ul style="list-style-type: none">● 免許返納した高齢者や障害者の方のためにならず必要だから(5件)。● 自分もいずれ利用すると思うから。

(D) 路線バスの維持・確保

Q 維持・確保の費用負担はどのようにすべきですか



- 運賃収入でまかなえない分は、国や県の補助と市の予算で負担するのが望ましい
- 沿線の住民や企業なども一部を負担するのが望ましい
- その他
- 無回答

問4(2)で、路線バスの維持確保に肯定的な回答をした人に、維持・充実のための費用負担について質問しました。

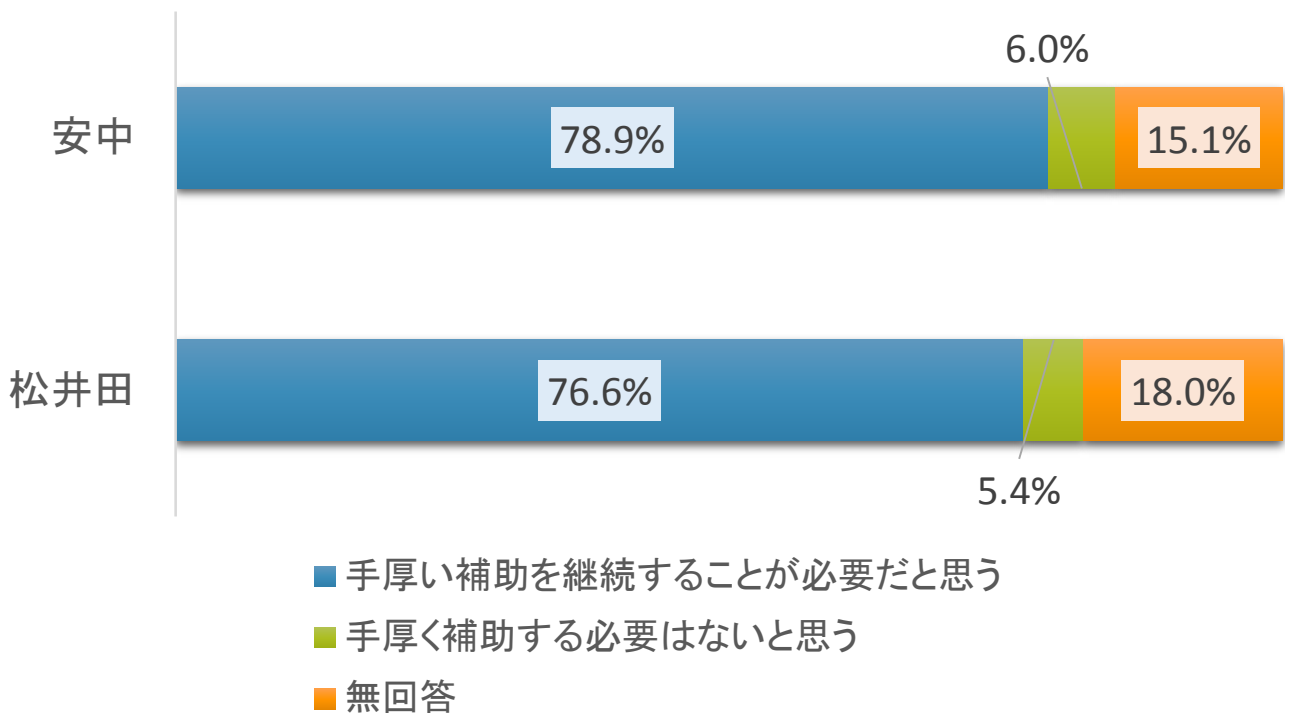
いずれの地域も「運賃収入でまかなえない分は、国や県の補助と市の予算で負担するのが望ましい」との回答が6～7割を占め、沿線の住民や企業などの受益者が一部負担することに肯定的な回答は些少にとどまりました。

■ その他で書かれた意見

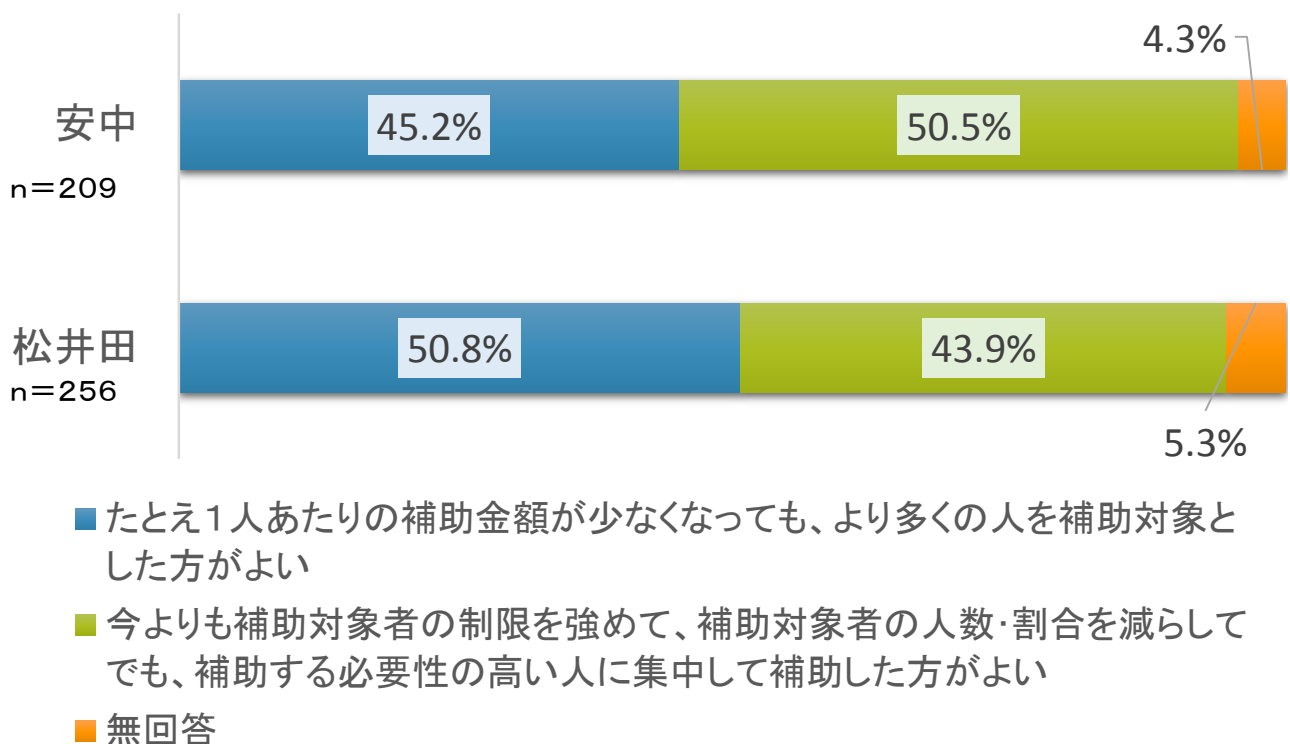
地域	記述内容
安中地域	● 受益者負担がベース。年間パスポートの発行等の割引制度が必要だと思う。
松井田地域	● 広告料スポンサーを募る。 ● 運賃を値上げする。 ● 区費等から協力している募金や寄付金を見直して本当に必要なこういう費用に当てたらどうか。 ● 企業努力に尽きる。

(E) 交通弱者への補助

Q 交通弱者への補助についてどう考えますか



Q 補助のあり方についてどう考えますか

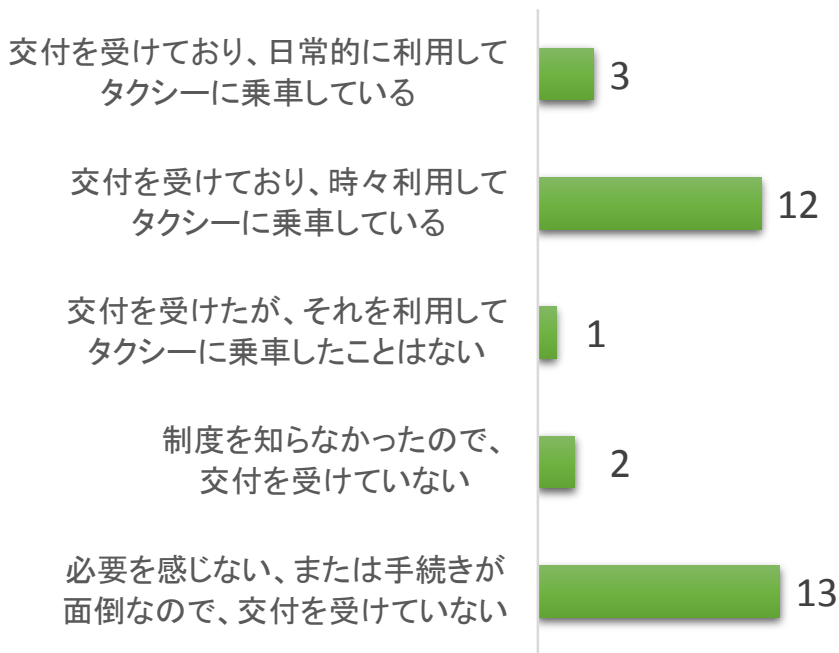


交通弱者の方が公共交通を利用する際に受ける補助について考え方を聞いたところ「手厚い補助を継続すべき」と答えた人が8割近くを占めました。また、そのように答えた方を対象に、望ましい補助のあり方について尋ねたところ「たとえ1人当たりが少なくなっても多くの人を補助対象にすべき」「たとえ制限を強めて対象者を減らしても、必要性の高い人に集中して補助すべき」との意見が拮抗しました。

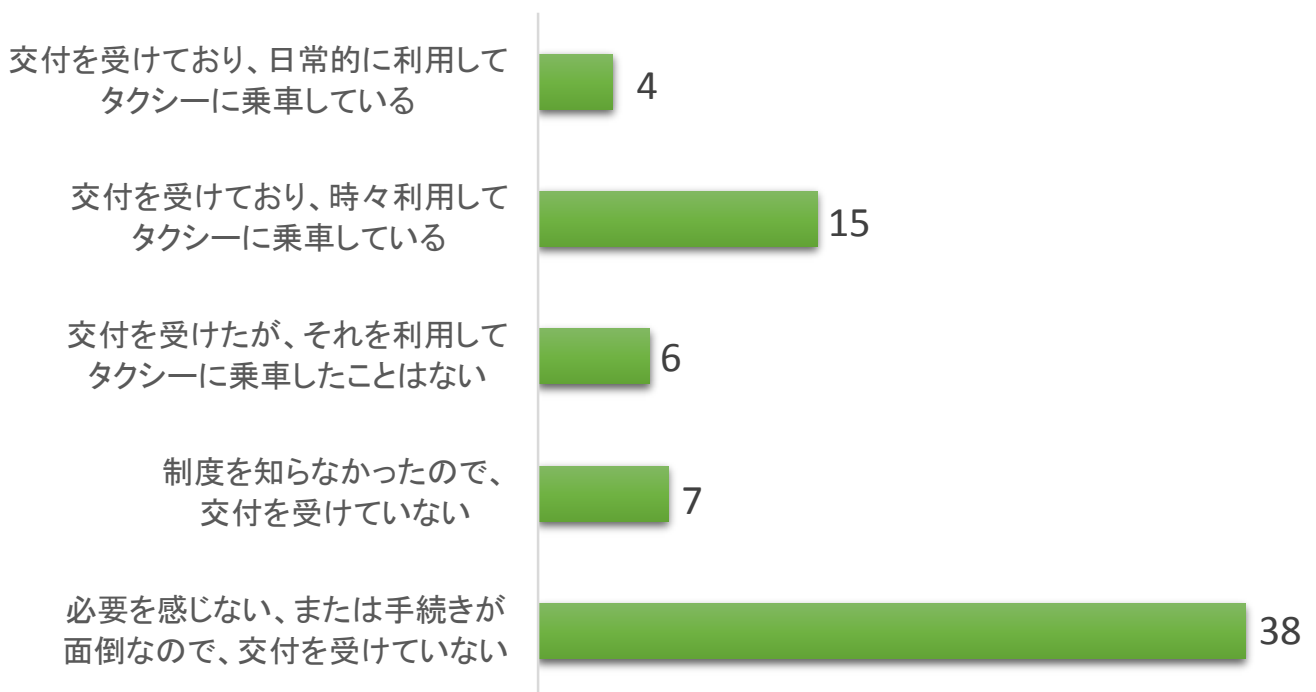
(E) 交通弱者への補助

Q 「安中市タクシー利用券」を利用していますか。
(受給資格がある人のみ対象)

■安中地域



■松井田地域



安中地域では75歳以上、松井田地域では70歳以上でタクシー利用券の受給資格が発生するため、該当者に利用状況を尋ねました。「日常的に」または「時々」利用しているとの回答よりも、「利用したことがない」「交付を受けていない」との回答数が上回りました。

公共交通を維持・確保するためのアイデアや、意見・要望など(自由記述) 《安中地域》

○路線の充実

安中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行本数を増やしてほしい。(3件) ・ スーパーを通るバスを増やしてほしい。 ・ 安中-富岡間をバスでつないでほしい。 ・ 高崎駅—安中or磯部間でバスを増やしてほしい。 ・ バス同士の接続をよくしてほしい。 ・ バス停を増やしてほしい。 ・ 鉄道との接続をよくしてほしい。 ・ 乗合タクシーに乗るときは(安中)市役所まで行かないと利用できない。 ・ 目的地・時間・運行日等を設定し運行されるバスを導入し、一定料金であるとよい。
原市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤通学の時間帯に合わせたダイヤにしてほしい。(2件) ・ 運行本数を増やしてほしい。 ・ スーパーを通るバスを増やしてほしい。 ・ バス停を増やしてほしい。 ・ 安中市役所止まりだけではなく、安中駅までがほしい。 ・ 鉄道との接続をよくしてほしい。 ・ 病院、金融機関、公共機関などの行き先をまとめて予約して利用できる機会を作ったらどうか。
磯部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行時間帯を拡大してほしい。 ・ バス停を増やしてほしい。
岩野谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぐるりん」と提携して高崎への便をよくしてもらいたい。
板鼻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道との接続をよくしてほしい。 ・ バス停を増やしてほしい。
秋間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行本数を増やしてほしい。 ・ 鉄道との接続をよくしてほしい。 ・ 色々なルートを走るようにしてほしい。

○交通弱者・高齢者

安中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が運転しなければならない社会は危険。返納したくてもできない人が多い。 ・ バス停までの距離、バスの本数、年齢などで補助の厚みを変えたらいいと思う。
原市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通弱者に対して現状を維持する必要がある。

○情報提供

安中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻表や路線図を市民に配布してほしい。(2件)
秋間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻表や路線図を市民に配布してほしい。

○タクシー券

安中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員に補助するのではなく、補助対象に要件を設けた方がよい。(2件)運転できる者を対象から除く、収入に応じる等。 ・ タクシー券を増やすべき。
原市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員に補助するのではなく、補助対象に要件を設けた方がよい。 ・ 路線バスを減らしてタクシー利用券金額を増やしたほうが便利である。 ・ バスよりもミニバスやタクシーを充実するべき。タクシー券も足りていない。
磯部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員に補助するのではなく、補助対象に要件を設けた方がよい。 ・ 高齢の母(85歳)が1人住まいだが、移動手段は100%家族頼りで、タクシー券など一度も使った事はない。
東横野	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー券は1回に1枚使用ではなく1回に2枚までとしてほしい。
岩野谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしの方たちに多く行きわたる様に援助してほしい。
板鼻	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー券を本人限定にすべき。本当に必要な方にのみ交付すべき。
秋間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一回の利用が500円ではなく年間いくらまで利用できるかという方法でないとタクシー券は利用できない。町中の人を使うだけで僻地は不便。
後閑	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー利用券をもう少し手厚くして、弱者が病院などに通っても自己負担が少なくすむようにしてほしい。
無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員に補助するのではなく、補助対象に要件を設けた方がよい。

○環境整備

安中	<ul style="list-style-type: none"> 公園に誰でも手軽に使えるストレッチ用具を配置し、お年寄りの外出をうながす。空き家を利用してお年寄りの方や地域の方が気軽に集えるカフェもどきの様な箇所を作る。 小さな商店の復活や路面での手作りマーケットなどをあちこちで開催し、市内の外出を増やす。外出したくなる街づくりをしていく事で、交通機関の利用者を増やす事は健康にもつながる。 今は車を運転しているがいずれ免許証を返納する時がきたらバスを利用すると思う。乗車地の雨・日よけ対策はどうなのか。 交通弱者のためのバリアフリー化など。 学生や高齢者を中心にアンケートを実施する。季節や行事によって車内装飾してはどうか。
原市	<ul style="list-style-type: none"> 一年を通して楽しめる公共施設(公園, 広場, イートイン), 噴水, 桜の木, 季節の花など, 家族連れや高齢者の方まで気軽に行ける場所。 鉄道利用のため安中駅近くに駐車場を作って欲しい。 駅などに大きめのバスターミナルを作ってはどうか。

○鉄道

東横野	・安中駅を中心に各方面へ移動できたらいいと思う。
板鼻	・群馬八幡駅と安中駅の間に駅を新設してくれるとよい。

○料金

安中	<ul style="list-style-type: none"> 1コインで一日乗り放題とか、学生は無料にするなどあってもよい。 なるべく料金は安いほうが望ましい。
原市	<ul style="list-style-type: none"> バスの回数券や一律料金の設定はどうか。 運賃について、高校生は半額くらいならもっと利用できると思う。

○このアンケート

安中	・バスの利用者、年代、補助金の対象・受け取り割合が分からず答えにくかった。
原市	・私は体が不自由な為、アンケートにあまり答えなかった。タクシーを利用しているが、これがなくなったらもうどこへも行けない。

○アイデア

安中	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい場所のニーズを把握して運行してほしい。 1時間に1本ローカルやエクスプレスのバスを無料で運行。 子供も楽しくお手軽に利用できるような(親子で)ぐ〜ちよきパスポートの割引など有ればあえて利用の機会を増やすきっかけができるかもしれない。
原市	<ul style="list-style-type: none"> 地元にいる退職者やシルバー等、運転免許所有者がボランティアとして自車を提供して、交通不便な場所をカバーする。ただし、保険やボランティアの人達にも多少の費用は出す。 鉄道や路線バスが配送業と提携し、運行費や路線を確保する。 65歳定年になり、無職の方に自分の車を活用して、割安の料金で運行してもらおう。TELを受けてから利用者宅へ向かう。運転者は自宅待機してもらおう。 足が不自由な人にはタクシーのようなバスと連絡をすれば家まで迎えに来てくれる。 収入格差に応じた料金設定。学生に対しては、定期導入と通学時間に合わせた時間設定。
磯部	<ul style="list-style-type: none"> マイクロバスやNPOタクシー等こまわりのきくもの。市がやるのではなく委託する等。 自家用車で通勤する大企業は費用を負担すべき。企業からもバス通勤を推奨させるべき。 定住者を促進させ、税収を確保すべき。プロモーションに力を注ぐべき。
岩野谷	<ul style="list-style-type: none"> バスに愛称をつけてはどうか。バス停付近の店などを紹介したマップがあってはどうか。 車両の小型化、通院を考慮。
板鼻	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転バス導入。実証実験に1番乗りしては。 デマンド方式を周知させて利用を促す。 高崎市のぐるりんバス方式を取り入れる(2件)。
秋間	<ul style="list-style-type: none"> 市内の病院(主要)経由等主な施設を循環し、利用者を増やす。JR等と連携し、通勤通学時間帯を調節し増便し、利用者を増やす。遠距離の小学生が使用できるよう時間調整をする等。 路線によって小型マイクロバスの導入を図る。 安中市のイベントとして、市内のバスで格安イベントラリーなどすべての市民に公共交通機関を理解してもらおう。1日同一金額でのイベントなど。 乗合タクシーを安中榛名駅から使えるように。少人数でイオン等へ往復(1000円位)があるとよい。 高齢者には格安の年間バスを売る。 タクシーにシフトする。あるいは路線バスの運行本数を増す。 有識者会議を設け節約対策案(意見)を導き、市長の意見を聞く。
後閑	<ul style="list-style-type: none"> 大型バスをやめて、小型での運行をし小回りがきくようにしたほうがよい。 地域内(当市)の路線バス運行は廃止するしかない。代替手段は、各戸から目的地までタクシーと同様に運行できる方法を検討する。

○その他

安中	<ul style="list-style-type: none"> 群馬の自家用車保有率が高く、自分も運転しているが、将来年を取った時にバスが無いと困る。
原市	<ul style="list-style-type: none"> 私も高齢者と言われる年齢になり、免許(運転)と、そろそろ考えなければならぬ時が来た。これからは交通機関を利用して日常生活の形を変えざるを得ない。 みんなで住みよいまちにすべき。 自動車の運転に自信がなくなった時は歩ける距離以上の移動は困る。
磯部	<ul style="list-style-type: none"> 乗合バスほとんど空では？ バス停に行かなくてもいつでもどこでも乗り降り出来る様をお願いしたい。
東横野	<ul style="list-style-type: none"> 今は自家用車で動けるが、先に行って運転できなくなった時に、路線バスがなかったら困る。 これから自分が70才・80才になり、車の運転が出来なくなった時には、乗合タクシーがあると便利。未永く乗合タクシーは続けてほしい。 乗合タクシーをよく見かけるが利用者の乗車を見たことがない。7600万円もの補助金が支出されていることは納得できない。 10年後20年後を考えると、公共交通機関のあり方が気になる。交通弱者に手厚い補助を継続してほしい。せめて安中駅、磯部駅周辺に無料駐車場があると、より便利に、公共交通機関を利用 磯部駅にて電車が着く直前にバスが誰も乗せずに発車していた。 自宅まできてくれるとよいと思う。 午後のデマンド運行が不便。
岩野谷	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーが充実していれば路線バスは必要ない。誰も乗せていない状態で走らせているのはもったいない。乗合タクシーの予約運行が気軽に使えるとよい。
板鼻	<ul style="list-style-type: none"> いつ見てもバスは空である。
無回答	<ul style="list-style-type: none"> いつまで車の運転ができるか分からないが、公共交通が必要になるときが来ると思う。一人暮らしの為心配。

公共交通を維持・確保するためのアイデアや、意見・要望など(自由記述) <<松井田地域>>

○路線の充実

松井田	<ul style="list-style-type: none"> 市役所やその周辺にある病院やスーパーなど、市内へのアクセスを便利にしてほしい。 松井田は商店が減り、高齢者には住みづらい。細かいバス運行を希望する。 鉄道との接続を充実させてほしい。 病院へのバスを充実させてほしい。 公共交通の地域差を解消してほしい。集客や利用が望める横川地区や本当に交通が不便な細野、九十九地区に通すべき。 高崎市のごりりんバスを安中市まで延伸してほしい。 高崎まで行くバス(国立病院行き、駅前行き)を検討しても良いと思う。
臼井	<ul style="list-style-type: none"> 当地域には路線がなく、利用したくてもできない。公共交通を導入してほしい。 臼井、坂本地区峠の湯まで午前1~2本、午後1~2本運行してほしい。
坂本	<ul style="list-style-type: none"> 碓氷峠くつろぎの郷~松井田支所周辺までのバスを復活させてほしい。 通勤通学や生活時間帯に合わせたダイヤ設定にしてほしい。 通院、買い物ができるような路線バスを運行してほしい。 公共交通の地域差を解消してほしい。 鉄道との接続を充実させてほしい。観光利用も含めて検討してほしい。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の地域差を解消してほしい。(2件) 市街地から遠い山間部などのはなれた地域でのバス運行を検討してほしい。 鉄道との接続を充実させてほしい。 バス停を増やしてほしい。 磯部~定住センター経由の松井田駅行のバスを検討してほしい。 病院・スーパーに行けるバスを運行してほしい。 いつか免許を返納する時、路線バスが一日二回でもあったら買物にも行けるのでとても助かる。 西横野方面にも乗合タクシーができれば利用したい。 松井田~安中市役所線が西横野地区を通れば利用したい。休日も運行してほしい。 路線バスが数本でも通っていれば、乗る人がその時間に合わせればよい。
九十九	<ul style="list-style-type: none"> 当地域には路線がなく、利用したくてもできない。公共交通を導入してほしい。(5件) 通学(中学校)、通勤等に利用できれば、利用が増える。 高崎市の「ごりりんバス」方式を導入する。
細野	<ul style="list-style-type: none"> 大型バスでなく乗合タクシーのような車を増やし、各地域から市内、駅、病院等巡回してほしい。 バス停がなくても手をあげれば乗れる車が時刻表に合わせて運行されると老人も乗りやすい。 当地域には路線がなく、利用したくてもできない。公共交通を導入してほしい。 坂本、九十九、細野への巡回を希望する。少なくとも、朝、夕、2回。

○交通弱者・高齢者

松井田	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通はシニアには必要。 お年寄りには潔く運転を諦めてもらいたい。そのためにも公共交通を充実してもらいたい。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> 所得が少なく最低の生活ができない人に補助をする。 ますます高齢者が増え、運転も出来ない人も多くなるので、乗合タクシー等を増やしてほしい。
九十九	<ul style="list-style-type: none"> 私も高齢となりいつ必要となるかわからないので必要とする人全員補助してほしい。
細野	<ul style="list-style-type: none"> 全員に補助するのではなく、補助対象に要件を設けた方がよい。

○情報提供

松井田	<ul style="list-style-type: none"> バス利用についての認知度が低いので、情報提供をもっと増やすべき。(3件) バスを見ているとお客が乗車していない場面が多々見られる。利用実態が知りたい。 もっと多くの市民が利用するよう「バス利用キャンペーン」実施を。
臼井	<ul style="list-style-type: none"> バス利用についての認知度が低いので、情報提供をもっと増やすべき。各自宅に防災無線があるからそれを利用したアピール、運行状況のお知らせ等。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> バス利用についての認知度が低いので、情報提供をもっと増やすべき。(4件)
九十九	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表や路線図を市民に配布してほしい。
細野	<ul style="list-style-type: none"> バス利用についての認知度が低いので、情報提供をもっと増やすべき。

○タクシー券

松井田	<ul style="list-style-type: none"> 過疎の深刻な地域ほどタクシー券が必要。 タクシー券はどこまで行っても1枚だけしか使えないが、自分で払う分が多くなり大変である。
坂本	<ul style="list-style-type: none"> 「愛乗りふれあいタクシー」制度はあるが、近所で誘い合うのは大変。だからタクシー券はいらない。バスなら個人金を出せば何も気を遣わなくて済む。 坂本や横川・臼井は高齢者が増加しているのでタクシー利用券の交付枚数を増やしてほしい。 タクシー券を高額でも70パーセント補助する。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> 免許証返納した時は公共交通機関等を使うと思うので無料タクシー券や市内バス運行の範囲を広げてほしい。 全員に補助するのではなく、補助対象に要件を設けた方がよい。 タクシー券を1回につき500円ではなく1000円くらいにしてほしい。安中と松井田の市民で利用券が違っている。合併しているのに不公平。補助額もだいぶ少額。
九十九 細野	<ul style="list-style-type: none"> タクシー券をもっと気軽に使えればよい。旧安中市との格差があり過ぎて不公平感を感じる。 今までのようにタクシー割引券が欲しい。

○環境整備

細野	<ul style="list-style-type: none"> 松井田方面にテーマパーク的なものを作ってほしい。バスも今の路線にしておいてその路線上に目的地になるテーマパーク的なもの(一か所で済むところ)を作れたら、あちこちに行かなくてもよくなると思う。そうしないとネットショッピングなどで済ませてしまい安中がますます寂しくなる。
----	---

○鉄道

松井田	<ul style="list-style-type: none"> JR信越線の駅数を増やし、列車本数を増やして利用客を増やす。具体的に安中―磯部間に2駅、磯部―松井田間に1駅を増設してバス運行と連結させる。横川―軽井沢間は復旧させる。
臼井	<ul style="list-style-type: none"> 信越線横川軽井沢間の営業を廃止して来年で20年の歳月が流れ、うわさによれば高崎横川間も数年の内にの話が聞かれます。そのようになれば高齢化になり免許証を返納した場合公共交通機関がないと生活が成り立たない。なんとか存続してほしい。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> バス路線を多用化・増加するに加えて信越線の駅も増設してほしい。

○料金

西横野	<ul style="list-style-type: none"> 支払額が分かりにくい為、距離に関係なく同額が良い。
-----	---

○このアンケート

松井田	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用状況等が不明であり現状をオープンにしていると回答できないところがある。
細野	<ul style="list-style-type: none"> 回答はマークシート式にして集計を効率的に行くと計画者の負担軽減になるのではないかと。

○アイデア

松井田	<ul style="list-style-type: none"> インターネットで行きたい場所・料金を決めて、登録している人で車を出せる人が出すサービス。 交通弱者のための(自家用車利用で)運転ボランティアネットワーク。研修・保険など市が支援。 財源として事業用太陽光発電の固定資産税を上げる。住民税の所得割部分の税率を上げる。法人税を上げる。軽自動車税を充てる。運転手にシルバー人材を活用する。 路線バスの維持と交通弱者の補助金を比べて予算のかからない方へ変えていく。 お年寄りのための、予約によるスーパーや通院だけの週2回程度の買い物タクシー。 利用目的別にバス等の運行を行ったらどうか。例:通院のため病院廻り(多くの医院があるので大変、工夫してほしい。)買い物のためスーパー衣料品店(銀行、郵便局含む)廻り。 路線を細かくすること。停留所の設置についても同様に細かく置いて乗りやすくする。利用料金は高額にならないこと。足りない分は市で補助をする。 IT利用で柔軟な道程を。バスの小型化。規制緩和でウーバー解禁。 横川駅から安中を回るバス、他県のぐるりんバス。手を上げれば停車してくれる、例として病院、スーパー、駅など。 温泉に行けるバスの回数を増やしたらどうか。 期間が要望を聞いて乗合買物バスや行き先を決めての乗合運行。全ての地区を運行するのは難しいので主要路線を決め他の地区は日時、本数を決め運行したらよいのでは。 高齢者が、バス停だけでなく家の近くでも止めてもらう事ができれば気軽に安心して利用できる。 バスなど家のそばまで来てくれると良いと思う。小さい車でも良いと思う。 75才以上は運賃無料、又は半額にする。グーチョキパスポート提示で無料又は半額。乗車人数の少ない経路(時刻)は本数を減らしても良い。 時間帯で統計を取って利用人員、時間帯に合わせて出勤を工夫。小型化。 路線バスより、交通弱者が手軽に呼んで便利に使えるタクシーや小型乗合いバスの方が良い。 自動運転バスの早期導入。 オンデマンドバス。 弘前の例だと100円の循環バスがある。いろいろな地域の例を見て良いところを見つける。
-----	--

臼井	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売を市でしてくれると助かる。1か月に1度か2度の病院の通院はタクシーが良い。小さな乗り合いタクシーで週に2回くらい曜日を決めて自宅前まで来てもらえたら。 ・バスの小型化で維持管理を安くする。 ・数日毎に1~2名の弱者送迎担当者を選任する。(若干の手当をつけるかボランティアで) ・自動運転技術を使用した無人タクシー、無人路線バスや自動運転車のライドシェアへの移行。 ・家まで来てくれる乗り合いタクシー。
坂本	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地経由で本数を増便することで、地元住民以外の集客を見こめるかも。 ・一人住まいの人や交通弱者が、自宅から利用できる方法の検討。住民タクシーで運営体を地域団体とし(事故などの不安もあるが)、地域で弱者を助けたり、守っていく道もある。 ・小型のバスで細かい道まで入ってくれたらありがたい。坂本、横川方面は本当に不便。 ・出資者を募り、額により運賃を割り引く。利便性の高い区間は運賃UPそのお金で運行路線を広げる。免許返納した人は自動車税、車検費用、保険料が不要となるので出資をお願いする。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを活用して買い物時に同乗、また割引利用を店と連携して行う。 ・スーパーや病院などにバス停を限定すべき。 ・学生が無料又は低料金で利用してもらいバス利用人数を増やし、バスイメージを良くする。 ・松井田町は特に買い物に店が遠く、駅も遠い為タクシー券又は路線バスの運行は有効な手段で助かっている。是非続けてほしい。買い物の宅配ができるか、出張販売制度があると楽だと思 ・医院やスーパーマーケット等の前での乗降可能な場所を多くする。 ・運転に自信のあるボランティアをつのり、たとえば土日だけでも交通の便の悪い奥の方から町まで買い物ツアーのように(近所を誘い合わせて乗れるような)送り迎えをしてくれるようなシステム。 ・市委託による行商的な巡回販売を実施する。地域の集会所やそれに準ずる所に移動車を設置 ・小型車が良いと思う。7~10人乗り目立つ車(案)午前2回、午後2回1日4回結果が出なければ廃止する。足腰が悪いので道路に出ていて手を挙げて拾ってもら、あえて乗り場は作らない。 ・ぐるりんバスの検討を。 ・スクールバスの行き帰りに、一般の高齢者が利用できると経費的にはいいのでは。
九十九	<ul style="list-style-type: none"> ・山間部ではボランティアによる交通手段の確保が必要だと思う。 ・小型の移動手段を使ったデマンド方式にしてはどうか。 ・六人乗りくらいのバスの運行に切り替え可能な路線、時間帯を検討。(コスト削減、環境負荷)乗車の少ない路線は思い切って廃止しタクシー利用に変更する等、十分に統計を取り判断。 ・通学児童や駅利用の高校生等の利便面を最優先すべきか。
細野	<ul style="list-style-type: none"> ・一部バスからデマンドタクシーに転換し、ドアtoドアが可能だとありがたい。通院に関しては、診察券を提示すれば安価でタクシーを利用できるようにする。 ・バスの大きさを小さくして費用の低減を図る。バスの中で市の情報を流す。運転手を地元の人にして気軽に話ができるようにする。 ・シルバーボランティアによる、自家用タクシー。交通事故時の対応が難しいかもしれないが。 ・利用実態を市広報にのせ現状を理解した上で運行計画を策定し、経費の有効利用を図る。 ・乗合タクシーかマイクロバス位の大きさが充分。今は路線のない我々の場所にも通して欲しい。 ・定期券、回数券の発行。バス停の再検討。 ・オンデマンド交通の導入を検討してほしい。 ・全自動運転バスにシルバーのガイドさん。

○その他

松井田	<ul style="list-style-type: none"> ・これから先高齢になり車の利用が難しくなるとお互い介助をしながら通院や買い物が必要になって来た時バスの利用ができたなら心強い。 ・前日バスを見たが人がいない。人がいても一人くらいしか乗ってないこともある。 ・運転できなくなった場合バスが通っていないので不安。なくしてほしい。 ・需要が少ないことや特定の人のお金に恩恵があることにお金をかけるのはいかなものかと思う。若い世代はこんなこと望んでいないと知してほしい。 ・介護タクシーを安く手がるに利用できると助かる。
臼井	<ul style="list-style-type: none"> ・横川地区は、バスも走っていないので不便。
坂本	<ul style="list-style-type: none"> ・車もないため外に出ている家族に世話になっている。よその車ではお世話してもらっているのが悪い。 ・いずれ自家用車利用が出来なくなったとき、病院、買い物に一人で行けるようになってほしい。
西横野	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に偏っており他の地区にも平等にしてほしい。 ・磯部駅北口はいつも入口出口と混雑していて大変苦労している。改善を期待する。 ・なくなると困るのは当然。補助金等で助け合いながら無駄のようでも運行するのが良い。
九十九	<ul style="list-style-type: none"> ・小日向住民にとっては、小日向口バス停は余りにも遠距離であり歩いていけない。
細野	<ul style="list-style-type: none"> ・大型バスはもったいない。何か気軽に自家用車がわりに使えるサービスが考えられないだろうか。現状では死ぬまで元気で運転するしかない。 ・高齢者の免許返納が叫ばれ、山間地の不安は高まるばかり。地元商店と足の安定を進めてほしい。 ・運転が出来なくなったら細野にはバスが来てないので不安。何か小型の乗り物があればいい。 ・公共交通が本当に利用したい人達のところに行っているのか、使いたい時間、行き先等もっと市民の声を聞き調査した上で路線乗り物を考えてほしい。 ・通院買い物が一人でできなくなった時のことを考えるとこの地に住み続けることに不安を感じる。